

府中市行財政改革推進プラン

【平成30年度～平成33年度】

《プラン終了時点進行管理票》

令和4年6月
府 中 市

1 はじめに

市では、まちづくりの指針である最上位計画の「第6次府中市総合計画」において、市民の皆様とともに目指す将来のまちの姿（都市像）を『みんなで創る 笑顔あふれる 住みよいまち』と定めています。この都市像を実現するためには、着実に健全な行財政運営が必要不可欠であることから、「第6次府中市総合計画後期基本計画」に合わせて、平成30年1月に「府中市行財政改革推進プラン（平成30年度～平成33年度）」（以下「行革プラン」といいます。）を策定しました。

そこでは、徹底した事務事業の見直しによる歳出の抑制のほか、受益者負担の適正化や新たな歳入確保策の実施などを掲げて、歳出と歳入の両面から行財政改革の取組を進めることとしています。この行財政改革の取組を着実に推進するとともに、その進捗状況を広く市民の皆様にお知らせして認識を共有するべく、「行革プラン」に掲げる個別プランについては、実績や進捗状況の評価、今後の方向性を毎年度集約して、進行管理を行っています。

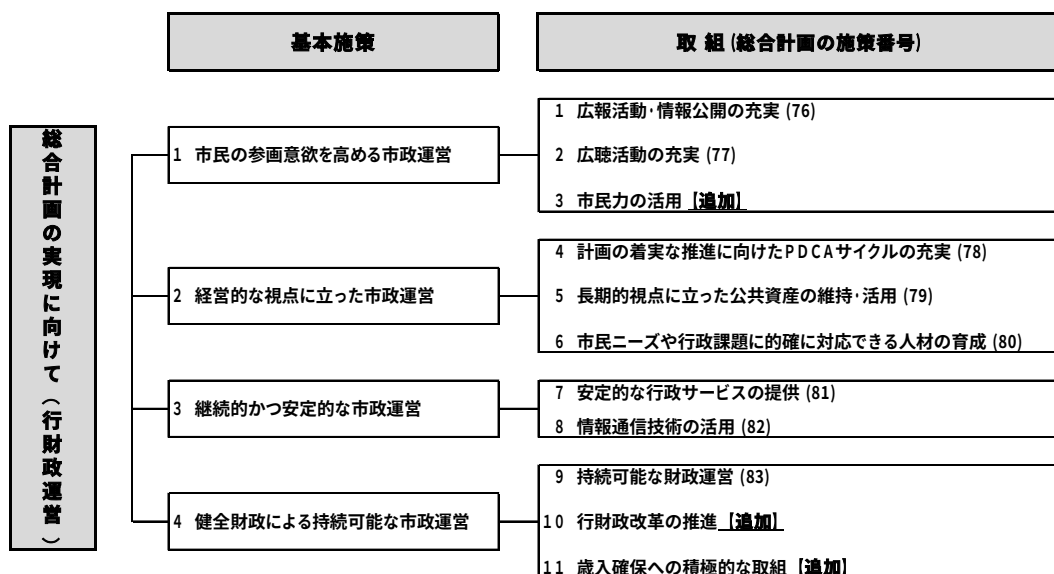
ここで、4年間の計画期間の第2年度に当たる令和元年度末時点の評価結果をまとめましたので、次のとおりお知らせします。

2 府中市行財政改革推進プランの体系と評価結果の概要

「行革プラン」では、下記の図のとおり、「第6次府中市総合計画」における行財政運営分野の4つの基本施策に基づく8つの施策に加えて、3つの独自取組を含めた合計11の取組を基本的な体系としています。さらに、この11の取組の下に45の個別プランを位置付けて、行財政改革を推進することとしています。

進行管理においては、45の個別プラン・取組について、「完了：A」、「計画どおりに進んでいる：B」、「計画どおりに進んでいない：C」、「未着手：D」の4段階で評価しました。また、個別プラン・取組ごとに適当な指標を可能な限り設定し、半年毎の取組内容を記載するとともに翌年度予算に反映した効果額を記しています。

「府中市行財政改革推進プラン（平成30年度～平成33年度）」の取組の体系



◆計画終了時点の評価結果の概要

評価区分	プラン数
A 完了	3
B 計画どおりに進んでいる	33
C 計画通りに進んでいない	9
D 未着手	0
計	45

◆行財政改革推進プランを代表する総合指標の状況

区分	指標	現状値	目標値	R3年度末
職員（人）	職員数（再任用フルタイム職員を含む）	1,310人 (H29年度)	1,280人 (R3年度)	1,313人
施設（物）	公共施設の市民一人当たり延床面積	2.48㎡/人 (H28年度)	2.51㎡/人 (R3年度)	2.56㎡/人
財政（金）	経常収支比率	83.2% (H28決算)	80%台 (R3決算)	85.1% (R2決算)
	実質公債費比率	2.6% (H28決算)	8.0%以下 (R3決算)	3.0% (R2決算)
	市税収納率（現年・滞繰分の合計）	97.6% (H28決算)	98.5% (R3決算)	98.4%

◆効果額

区 分	効果額 [千円]
歳入確保分	3,469,346
歳出削減分	319,735
計	3,789,081

3 評価結果一覧及び個別プラン進行

個別プラン名等		最終 評価	効果額(千円)		該当頁
1 市民の参画意欲を高める市政運営					
取組1 広報活動・情報公開の充実					
(1) 充実した内容の広報紙の作成・配布	B	0			1頁
(2) ホームページの利便性の向上	B	0			2頁
(3) テレビ広報の番組内容の充実	B	0			3頁
(4) 様々な情報提供媒体の活用	B	0			4頁
(5) 情報公開の充実のための文書目録の作成	B	0			5頁
取組2 広聴活動の充実					
(1) 市長と語る会の充実と市政運営への意見のフィードバック	B	0			6頁
(2) 公募市民枠の拡充	B	0			7頁
取組3 市民力の活用					
(1) 市民活動センターを拠点とした市民活動の推進	B	0			8頁
(2) 市民との協働による地域運営	C	0			9頁
(3) 地域で支え合う仕組みづくり					
①福祉相談窓口	B	0			10頁
②地域自主防災連絡会	C	0			11頁
2 経営的な視点に立った市政運営					
取組4 計画の着実な推進に向けたPDCAサイクルの充実					
(1) 総合計画の進行管理体制の強化	C	0			12頁
(2) 団体に対する補助金の適正化に向けた総点検の実施	B	0			13頁
(3) 内部評価制度等に即した事務事業の最適化の推進	B	歳出	46,784		14頁
取組5 長期的視点に立った公共資産の維持・活用					
(1) 公共施設のマネジメントの視点による公共施設の最適化	B	0			15頁
(2) 公共施設のマネジメントの視点による公共施設の計画的保全	B	0			16頁
(3) インフラマネジメント計画に基づくインフラの維持管理施策の実施	B	歳入	69,126		17頁
		歳出	243,059		
(4) 市有財産活用の推進	B	歳入	220		18頁
(5) 公共施設等の整備・改修におけるPPP/PFI手法の検討・導入	B	0			19頁
(6) 市民サービスの向上及び管理運営経費削減に向けた指定管理者制度の見直し	B	0			20頁
取組6 市民ニーズや行政課題に的確に対応できる人材の育成					
(1) 多様な手法を用いた人材の育成	B	0			21頁
(2) 計画的な定員の管理	C	0			22頁
(3) 働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの推進	A	0			23頁
(4) 職員提案制度充実による組織の活性化	C	0			24頁
3 継続的かつ安定的な市政運営					
取組7 安定的な行政サービスの提供					
(1) 文書管理システムの活用推進	B	0			25頁
取組8 情報通信技術の活用					
(1) 基幹システムの最適化による事務作業の効率化	A	0			26頁
(2) インターネットを活用した申請・届出等の拡充	B	0			27頁

4 健全財政による持続可能な市政運営

取組9 持続可能な財政運営

(1) 市の財政状況の定期的な提供	B	0	28頁
(2) 特別会計の健全な運営			
① 国民健康保険特別会計	B	0	29頁
② 後期高齢者医療特別会計	B	0	30頁
③ 介護保険特別会計	B	0	31頁
④ 下水道事業特別会計	A	0	32頁
⑤ 競走事業特別会計	B	歳入 3,400,000	33頁

取組10 行財政改革の推進

(1) 事務事業への民間活力の導入			
① 総合窓口業務の民間委託の拡大	B	0	34頁
② 市立保育所の民間活力活用の計画的な遂行	B	0	35頁
③ 業務量調査に基づく業務量削減及び民間委託業務の拡充	B	0	36頁
(2) 受益者負担・公私負担の見直し			
① 公共施設の使用料の適正化	C	0	37頁
② 教育に係る経費の公私負担の見直し	B	歳出 29,892	38頁
③ 公共施設の駐車場の有料化	C	0	39頁
(3) 庁用車のカーシェアリング等の検討	C	0	40頁

取組11 歳入確保への積極的な取組

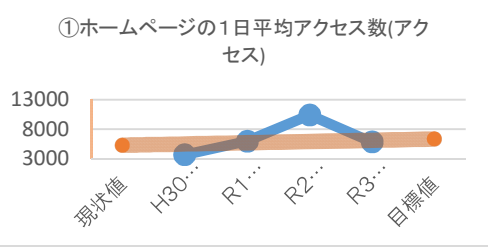
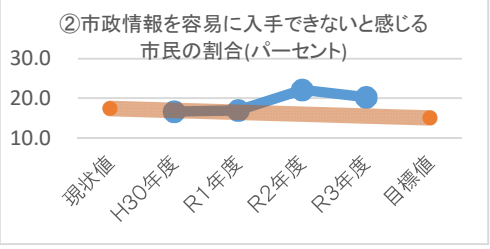
(1) 公平かつ適正な収納事務	B	0	41頁
(2) 市に裁量権のある税率や課税対象、課税区分の見直し	B	0	42頁
(3) 新たな施設へのネーミングライツの導入	C	0	43頁
(4) 寄附を受ける環境の整備	B	0	44頁
(5) タウンページ等を活用した償却資産課税の適正化	B	0	45頁

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「充実した内容の広報紙の作成・配布」				
1—1—1—					
担当課	広報課		関係課		
指 標	グラフ				
①広報紙希望配布の世帯数(世帯) ②市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合(パーセント)	①広報紙希望配布の世帯数(世帯) ②市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合(パーセント)				
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
11,108	12,246	12,931	13,474	13,948	17,000
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼市民の関心を誘引する広報紙づくりの検討・試行実施 ▼レイアウト、配布方法、発行回数・ページ数の見直しの検討・実施	▼市民の関心を誘引する広報紙づくりの本格実施 ▼継続	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・新しい取組として、給食レシピを掲載 ・特集記事を検討中 ・他市の状況を踏まえて検討中	・ページ数の見直しのため、記載方法を変更し、ホームページへ誘導するためのQRコードを掲載 ・ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた新たな特集を掲載	・新型コロナウイルスに関する情報を掲載 ・声の広報の作成・配布方法について見直しを検討 ・広報紙の多言語対応を検討	・広報紙のレイアウトの見直しを実施(NEWS欄の廃止ほか) ・全記事の見出し・問合せ先を追加するなど、声の広報の内容を充実化 ・多言語対応アプリ「カタログポケット」で広報ふちゅうの配信を開始		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成		
実績	実績	実績	実績		
・市民協働に関する記事で市民の写真掲載や取組を特集 ・ラグビーワールドカップ2019、東京2020オリンピック・パラリンピックに向けた新たな特集ができるよう検討中 ・ページ数の見直しに向け、記載方法の変更を検討中	・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成のため、開催直前に元日本代表選手と市長の対談、新春企画では選手のインタビューを行った ・来年度実施予定の全戸配布について検討	・新型コロナウイルスに関する情報を掲載 ・令和3年度に声の広報を見直し ・令和3年度に多言語アプリ「カタログポケット」を導入	・上半期で実施した内容の見直しを行いつつ、各事業を継続して実施 ・新型コロナウイルスに関する情報のほか、時勢に応じた情報を掲載		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	4,997	-1,048	17		
* 反映金額の算出方法	広報ふちゅうデザイン・レイアウト12P(134,000部×12.84円)+全戸配布(128,000世帯×18.66円)+個別配布増加分(1,000部×26回×16.66円)				

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「ホームページの利便性の向上」				
1—1—2—					
担当課	広報課		関係課	情報管理課	
指 標	グラフ				
①ホームページの1日平均アクセス数 (アクセス)					
②市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合 (パーセント)					
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
5,267	3,656	5,957	10,405	5,824	6,300
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼広報紙と連動したホームページづくりの検討 ▼コンテンツ内容の充実を目的とした職員研修の実施 ▼新たなガイドラインに基づく運用・見直し ▼PDF等の音声読み上げに対応する技術の調査	▼広報紙と連動したホームページづくりの実施 ▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・ホームページのURL、電子メールアドレス、申込みフォームなどにつながるQRコードを掲載 ・ホームページ操作研修、アクセシビリティ研修、広報力アップ研修を実施 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集	・広報ふちゅうに掲載している内容はホームページでも掲載するよう、主管課への周知を徹底 ・広報ふちゅうに掲載しきれない大きな表などは、ホームページにつながるQRコードを掲載し、ホームページへ誘導 ・ホームページ操作研修を実施 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集	・広報ふちゅうに掲載した記事に対応したホームページのコンテンツ作成を継続して周知・徹底 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集 ・緊急事態宣言に伴い、ホームページを緊急用に切り替え、アクセスの集中に備えるとともに、新型コロナウイルス関連の情報を得やすいよう、集約して掲載	・広報ふちゅうに掲載した記事に対応したホームページのコンテンツ作成を継続して周知・徹底 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集 ・広報ふちゅう各号の全記事のテキストデータをホームページに掲載し、読み上げソフトによる読み上げに対応		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成		
実績	実績	実績	実績		
・広報ふちゅうに掲載している内容はホームページでの掲載するよう、主管課への周知を徹底 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集	・災害時にアクセスしづらい状況を解消(市のホームページサーバーの負担を軽減)するため、CDNサーバーを導入 ・現状のガイドラインに即した運用となるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集	・広報ふちゅうに掲載した記事に対応したホームページのコンテンツ作成を継続して周知・徹底 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集 ・緊急事態宣言に伴い、ホームページを緊急用に切り替え、アクセスの集中に備えるとともに、新型コロナウイルス関連の情報を得やすいよう、集約して掲載	・広報ふちゅうに掲載した記事に対応したホームページのコンテンツ作成を継続して周知・徹底 ・現状に即したガイドラインとなるよう継続的に情報を収集 ・ニーズに合った読み上げ対応ができるよう継続的に情報を収集 ・広報ふちゅう各号の全記事のテキストデータ・ワードデータをホームページに掲載し、読み上げソフトによる読み上げに対応 ・視認性の向上などを図るホームページのリニューアルに向けた検討を実施		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	396	0	19,717		
* 反映金額の算出方法	CDNサーバー運用保守30,000円×12月				

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「テレビ広報の番組内容の充実」																
1—1—3—																	
担当課	広報課		関係課														
指 標	グラフ																
市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合（パーセント）	市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合(パーセント) <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>17.4</td><td>16.6</td><td>16.9</td><td>22.1</td><td>20.2</td><td>15.0</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0												
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼番組構成の検討・見直しの実施	▼継続	▼継続	▼継続														
▼SNSを活用した番組周知の検討・実施	▼継続	▼継続	▼継続														
▼番組の周知方法の検討・見直しの実施	▼継続	▼継続	▼継続														
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる														
実績	実績	実績	実績														
・キャスターの変更に伴い、講座を体験する企画などを検討中 ・ツイッターで番組を周知 ・他市の状況を踏まえて検討中	・機運醸成のため、ラグビーワールドカップ2019の話題をより多く取りあげた ・ツイッターで番組を周知 ・他市の状況を踏まえて検討中	・放送回数について見直しを検討 ・ツイッターで番組を周知 ・新型コロナウイルスへの対策をしたうえで、可能な範囲で市民に出演していただき、関係者への認知度の向上を図った	・令和3年度の下半期から、放送内容の更新回数を月3回から2回に見直し、1日の放送回数も2回に見直し ・ツイッターで番組を周知 ・新型コロナウイルスの感染対策を実施しつつ、可能な範囲で市民に出演していただき、関係者への認知度の向上を図った														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)														
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成														
実績	実績	実績	実績														
・番組の各コーナーの放送時間・内容を一部変更 ・より多くの市民の出演機会を創設 ・ツイッターで番組を周知 ・他市の状況を踏まえて検討中	・ラグビーワールドカップ2019の機運醸成のため、開催直前に元日本代表選手と市長の対談、新春企画では選手のインタビューやサインのプレゼント企画を行った ・ツイッターで番組を周知 ・他市の状況を踏まえて検討中	・令和3年度の下半期から、放送内容の更新回数を月3回から2回に見直し、1日の放送回数も2回に見直す。 ・ツイッターで番組を周知 ・イベントなどが実施されていない中で、新型コロナウイルス関連や新たな施策の情報を放送した。	・放送内容の更新回数を月3回から2回、1日の放送回数を2回とする見直しを実施 ・ツイッターで番組を周知 ・新型コロナウイルスの感染対策を実施しつつ、可能な範囲で市民に出演していただき、関係者への認知度の向上を図った。														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
0	0	-1,400	0														
* 反映金額の算出方法																	

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「様々な情報提供媒体の活用」																
1—1—4—																	
担当課	広報課		関係課	情報管理課													
指 標	グラフ																
市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合（パーセント）	市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合(パーセント) <table><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr><tr><td>17.4</td><td>16.6</td><td>16.9</td><td>22.1</td><td>20.2</td><td>15.0</td></tr></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0												
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼メール配信サービス・公式ツイッターの適正な運用 ▼SNS活用の支援 ▼プレスリリースの積極的な活用 ▼子ども広報の発行 ▼新たな情報提供手段の導入の検討・実施	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼わたしの便利帳の発行	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続														
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる														
実績	実績	実績	実績														
・メール配信サービスは改修を検討したが、現行のシステムの機能に不備がないため、改修は実施しない ・ツイッターでは市のお知らせなどを発信 ・オリンピック・パラリンピック推進担当がInstagramとツイッター、経済観光課がフェイスブックの運用を開始 ・プレスリリースは市の新しい取組やイベントなどのお知らせに活用 ・子ども広報はより読んでもらえるものになるよう検討中 ・他市の状況を踏まえて検討中	・ツイッターでは市のお知らせなどを発信 ・プレスリリースは市の新しい取組やイベントなどのお知らせに活用 ・他市の状況を踏まえて検討中 ・わたしの便利帳は令和2年1月発行に向けて準備を進めている"	・メール配信サービス、ツイッターで必要に応じて情報を発信 ・新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントに代わり、各課が作成した動画（啓発動画や体操動画、保育所の園児向け動画）の配信作業などを支援 ・プレスリリースにより、新聞報道で市政情報を発信 ・子ども広報は令和元年度をもって事業を廃止 ・多言語化対応アプリの導入を検討	・メール配信サービス、ツイッターで必要に応じて情報を発信 ・新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントに代わり、各課が作成した動画の配信作業などを支援 ・プレスリリースにより、新聞報道で市政情報を発信 ・多言語対応アプリ「カタログポケット」で広報ふちゅうの配信を開始														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）														
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成														
実績	実績	実績	実績														
・ツイッターでは市のお知らせなどを発信 ・プレスリリースは市の新しい取組やイベントなどのお知らせに活用 ・子ども広報はより読んでもらえるものになるよう検討中 ・他市の状況を踏まえて検討中	・ツイッターでは市のお知らせなどを発信 ・プレスリリースは市の新しい取組やイベントなどのお知らせに活用 ・他市の状況を踏まえて検討中 ・わたしの便利帳を令和2年1月発行	・メール配信サービス、ツイッターで必要に応じて情報を発信 ・新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントに代わり、各課が作成した動画の配信作業などを支援 ・プレスリリースにより、新聞報道で市政情報を発信 ・令和3年度に多言語対応アプリ「カタログポケット」を導入。	・メール配信サービス、ツイッターで積極的に情報を発信 ・新型コロナウイルスの影響で中止となったイベントに代わり、各課が作成した動画の配信作業などを支援 ・プレスリリースにより、新聞報道で市政情報を発信 ・メール配信サービスのバージョンアップを実施														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
0	0	550	240														
* 反映金額の算出方法																	

行革プラン進行管理シート

プラン番号 1—1—5—	プラン名「情報公開の充実のための文書目録の作成」																		
担当課	広報課		関係課	法制文書課															
指 標	グラフ																		
市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合 (パーセント)	市政情報を容易に入手できないと感じる市民の割合(パーセント) <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値</td><td>17.4</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>16.6</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>16.9</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>22.1</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>20.2</td></tr><tr><td>目標値</td><td>15.0</td></tr></tbody></table>					項目	値	現状値	17.4	H30年度	16.6	R1年度	16.9	R2年度	22.1	R3年度	20.2	目標値	15.0
項目	値																		
現状値	17.4																		
H30年度	16.6																		
R1年度	16.9																		
R2年度	22.1																		
R3年度	20.2																		
目標値	15.0																		
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
17.4	16.6	16.9	22.1	20.2	15.0														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼文書管理システム内の公文書件名の蓄積	▼継続	▼継続	▼継続																
▼文書目録等の公開方法の検討	▼文書目録等の公開	▼継続	▼継続																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・公開する文書目録の内容及び公開方法に関する検討を行っている。文書目録の作成及び内容の確認における留意点の各担当課への周知について検討している。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和元年9月現在で、平成30年度の文書検索目録を公開しており、今後は、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和2年9月現在で、令和元年度の文書検索目録を公開しており、引き続き、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和3年9月現在で、令和2年度の文書検索目録を公開しており、引き続き、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																
実績	実績	実績	実績																
・公文書検索目録の作成及び公開方法について、各担当課への周知と資料の確認を行い、公開に向けて準備を進めている。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和2年2月現在で、平成30年4月から令和元年7月までの文書検索目録を公開しており、今後は、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和3年2月現在で、令和2年7月までの文書検索目録を公開しており、引き続き、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。	・平成31年3月に文書検索目録の公開を開始した。 令和4年2月現在で、令和3年11月までの文書検索目録を公開しており、引き続き、年3回の頻度で公開件数の充実を図ります。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
0	0	0	0																
* 反映金額の算出方法																			

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市長と語る会の充実と市政運営への意見のフィードバック」																		
1—2—1—																			
担当課	広報課		関係課																
指 標	グラフ																		
市民の意見を聴く体制が整備されていないと感じる市民の割合（パーセント）	市民の意見を聴く体制が整備されていないと感じる市民の割合（パーセント） <table><tr><th></th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr><tr><td>割合（パーセント）</td><td>18.5</td><td>17.3</td><td>19.4</td><td>21.8</td><td>21.4</td><td>15.0</td></tr></table>						現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	割合（パーセント）	18.5	17.3	19.4	21.8	21.4	15.0
	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
割合（パーセント）	18.5	17.3	19.4	21.8	21.4	15.0													
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
18.5	17.3	19.4	21.8	21.4	15.0														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼市長と語る会で若い世代が参加しやすい開催内容の検討と実施 ▼市長と語る会での意見の反映結果の公表	▼前年度の実施状況の検証を経た取組の実施 ▼継続	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・平成30年度6月及び7月に実施した市長と語る会では、市内の大学に通う学生を対象に実施し、29名の参加があった。意見の反映結果の公表は平成29年度9月実施分からの公表を検討している。	・令和元年度7月に実施した市長と語る会では、府中市農業委員会、府中市農業後継者連絡協議会、都立農業高等学校の生徒を対象に実施し、若い世代の市政への意見聴取に努めた。また、平成30年度に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。	・令和2年度7月に実施した市長と語る会では、住吉・是政・四谷・押立文化センター圏域自主防災連絡会の皆様を対象に実施し、喫緊の課題である水害対策に対する市政への意見聴取に努めた。また、令和元年度に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。	・新型コロナウイルス感染拡大状況等に鑑み、上半期の市長と語る会の開催を見送ったが、令和3年度10～11月に市長と語る会の実施を予定している。また、令和2年度に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																
実績	実績	実績	実績																
・平成30年度6月及び7月に実施した市長と語る会を市内の大学に通う学生を対象に実施し、若い世代の市政への意見聴取に努めた。また、平成29年度9月に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。	・令和元年度7月に実施した市長と語る会では、府中市農業委員会、府中市農業後継者連絡協議会、都立農業高等学校の生徒を対象に実施し、若い世代の市政への意見聴取に努めた。また、平成30年度に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。	・令和2年度7月に実施した市長と語る会では、住吉・是政・四谷・押立文化センター圏域自主防災連絡会の皆様を対象に実施し、喫緊の課題である水害対策に対する市政への意見聴取に努めた。また、令和元年度に実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。一方、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、開催時期の見極めに苦慮した。	・令和3年度10月及び11月に実施した市長と語る会では、府中市子育て応援団「子育て会議」、東京外国語大学、東京農工大学、明星高等学校の皆様を対象に実施し、デジタルツールの活用に対する意見集約に努めた。また、令和2年度の実施した市長と語る会では出された参加者の意見に対する市政への反映状況をホームページに掲載した。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
0	0	0	0																
* 反映金額の算出方法																			

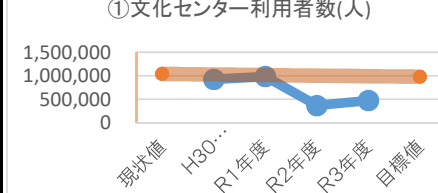
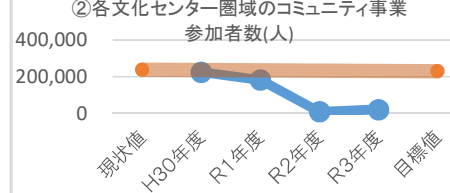
行革プラン進行管理シート

プラン番号		プラン名「公募市民枠の拡充」																
1—2—2—																		
担当課		政策課		関係課														
指 標		グラフ																
公募委員在籍機関の割合 (パーセント)		公募委員在籍機関の割合(パーセント) <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>46.3</td><td>46.3</td><td>45.2</td><td>55.6</td><td>53.6</td><td>50.0</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	46.3	46.3	45.2	55.6	53.6	50.0
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
46.3	46.3	45.2	55.6	53.6	50.0													
現状値(平成29年度)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
46.3		46.3	45.2	55.6	53.6	50.0												
スケジュール																		
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)															
▼既存の附属機関等の調査及び調査結果に基づく見直しの実施 ▼新規の附属機関等への働きかけ	▼継続	▼継続	▼継続															
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)															
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる															
実績	実績	実績	実績															
・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れているが、活動している全ての附属機関等において、公募市民枠を取り入れている附属機関等の割合がわずかに減少した。 ・新規の附属機関等への働きかけを行った。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れているが、活動している全ての附属機関等において、公募市民枠を取り入れている附属機関等の割合がわずかに減少した。 ・新規の附属機関等への働きかけを行い、専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れた。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れており、活動している全ての附属機関等に対する公募市民のいる機関の割合は昨年度から増加している。 ・新規の附属機関等への働きかけを行い、専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れた。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れており、活動している全ての附属機関等に対する公募市民のいる機関の割合は昨年度から増加している。 ・新規の附属機関等への働きかけを行い、専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れた。															
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】															
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ															
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)															
C 目標値未達成	C 目標値未達成	B 目標値達成	B 目標値達成															
実績	実績	実績	実績															
・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れているが、活動している全ての附属機関等において、公募市民枠を取り入れている附属機関等の割合の変動はなかった。 ・新規の附属機関等について、その附属機関等の性質に応じて公募市民枠を取り入れるよう働きかけを行った。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れているが、活動している全ての附属機関等において、公募市民枠を取り入れている附属機関等の割合がわずかに減少した。 ・新規の附属機関等について、その附属機関等の性質に応じて公募市民枠を取り入れるよう働きかけを行った。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れており、新規の附属機関等について、その附属機関等の性質に応じて公募市民枠を取り入れるよう働きかけを行ったことから、公募市民枠を取り入れている附属機関等の割合が増加した。	・専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れており、活動している全ての附属機関等に対する公募市民のいる機関の割合は、目標値を達成することができた。 ・新規の附属機関等への働きかけを行い、専門的知識を要する附属機関等を除き、公募市民枠を取り入れた。															
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)															
0	0	0	0															
* 反映金額の算出方法																		

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市民活動センターを拠点とした市民活動の推進」				
1—3—1—					
担当課	協働推進課		関係課		
指 標	グラフ				
① 市民活動センター登録団体数(団体) ② コミュニティビジネスに関するガイダンス・個別相談等に参加し、事業の立ち上げにまで至った件数(件)	①市民活動センター登録団体数(団体) ②ガイダンス・個別相談等に参加し、事業の立ち上げにまで至った件数(件)				
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
138	431	486	439	440	250
1	2	4	9	17	3
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼市民活動センター周知・利活用促進のためのPR活動 ▼市民活動団体の組織基盤の醸成のために必要な講座の企画及び団体の支援 ▼コミュニティビジネスへの支援	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼市民活動団体の安定した一定規模での活動継続の支援 ▼団体、企業、地縁団体など多様なネットワークのマッチング ▼活動団体同士の連携の促進	▼継続 ▼地縁団体や企業等を巻き込んだ取組の実施 ▼活動団体同士の相互支援 ▼5年間の運営実績に対する評価を踏まえた次期指定管理者の選定		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・PR活動は、HPやSNS等の活用に加え、各種イベントへの出展を行い、センター利活用を促進した。講座は、市民活動入門・専門講座やコーディネーター養成講座を実施。入門講座の卒業生から新たに団体を立ち上げた等の成果があった。コミュニティビジネス支援は、講座受講・相談人数が8月末時点で26名と順調に増加している。	PR活動のため、チラシ配布や、HP、SNS、LINE@等の活用に加え、各種イベントへの出展を行った。組織基盤強化や人材育成のため、各種講座に加えてコーディネーターのインターンシップ制度を開始した。コミュニティビジネス支援のため、相談等に加えて創業関連機関と連携した創業セミナーの開催を複数回実施した。	感染症に配慮し、オンラインでの講座実施や団体の現状ヒアリング、オンライン活用サポート等を行い、市民活動の停滞を防いだ。協働まつりのオンライン実施を決め、コミュニティ協議会への参加を促すなど地縁団体とのネットワーク作りを努めた。多様な主体のマッチングを促進するみんぷら事業を開始した。情報発信力向上とマッチング促進のためにサイトをリニューアル公開した。	・昨年度に引き続き、団体のオンライン化支援を実施した。また、オンラインサポーター養成講座を実施し、サポート人材の増加と、社会貢献経験のきっかけを提供した。 ・地縁団体、行政ともオンライン支援をきっかけとした連携が増加。 ・プロボノ事業を新たに開始し、市民同士の団体支援を促進した。 ・次期指定管理者候補者選定委員会を開催。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
B 目標値達成	B 目標値達成	B 目標値達成	A 目標値以上		
実績	実績	実績	実績		
・各種PR活動を行うとともに、気軽に参加しやすいイベント等を実施し、センター利活用を促進した。協働まつりにより広く市民へ市民活動・協働の紹介を行い、市民や団体等の交流が促進された。登録団体等の調査等も行い、団体の組織基盤強化につながる助成金や各種支援策について検討した。コミュニティビジネス支援により、事業立ち上げまでに至った件数が1件増加した。	PR活動のため、企業や団体と連携した共催イベントを実施し、新たな層の来館を目指した。協働まつりでは、参加団体数が増加した。組織基盤強化のため、R2年度助成金の制度を抜本的に改めた。また、他都市のセンター調査を実施し、施策の改善に活かす予定。コミュニティビジネスについてH30年度から伴走支援していた案件が立ち上げに至った。起業支援コーナー運用方法の見直しを検討した。	感染症下でも市民活動を停滞させないため、協働まつりをオンラインで実施した。その結果、団体のオンライン対応力の向上、オンライン上での団体交流の促進、取組のメディアへの掲載等の効果があった。その他各種講座等もオンラインで実施した。団体間のネットワーク促進のため、分野を限定した交流会事業を実施した。情報誌kokoikoを通じた地縁団体との関係性の構築を企図した。	・協働まつりをオンラインと会場のハイブリッドで開催し、多様な方法で市民活動団体を知り・交流する機会を提供した。 ・地域課題解決プラットフォーム「みんぷら」事業を市と協働で開催し、多様な市民・企業を巻き込みながら社会貢献プロジェクト創出を支援した。 ・次期指定管理者候補者を選定した。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
△2,473	△5,012		14,413	△33,179	
* 反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市民との協働による地域運営」				
1—3—2—					
担当課	地域コミュニティ課		関係課		
指 標	グラフ				
① 文化センター利用者数(人) ② 各文化センター圏域のコミュニティ事業参加者数(人)					
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
1,038,698	924,750	984,320	369,743	472,669	977,000
238,754	224,887	182,514	9,125	21,148	230,000
スケジュール					
平成30年度	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼地域の特色をいかした事業の継続実施 ▼地域の連携体制等に係る情報収集 ▼今後、文化センターに必要な機能の整理・検討	▼継続 ▼情報収集に基づく検討 ▼継続	▼継続 ▼検討結果に基づく決定 ▼検討結果に基づく決定	▼継続 ▼決定に基づく取組の実施 ▼決定に基づく取組の実施		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない		
実績	実績	実績	実績		
・引続き各文化センターにおいてコミュニティ協議会への委託により、地域の連携・協力のもと、地域の特色・資源をいかした各種事業を実施し、地域のふれあいやつながりの場の創出を図った。 また、今後文化センターに必要な機能を庁内関係課で検討するにあたり、まずは課題の抽出・整理を開始した。	・引続き各文化センターにおいてコミュニティ協議会への委託により、地域の連携・協力のもと、地域の特色・資源をいかした各種事業を実施し、かつ集客のためのPR等にも力を注ぎ新たな参加者の獲得に努め地域のふれあいやつながりの場の創出を図った。 また、今後文化センターに必要な機能を庁内関係課で検討するにあたり、引続き課題の抽出・整理を行った。	・例年どおり各文化センターにおいてコミュニティ協議会へ事業委託を契約したが、新型コロナ禍により事業パートナーである協議会委員が一堂に会することも困難な状況である。全センターで実施する「地域まつり」をはじめ、集客イベントの多くを見送った。こうした状況下でも新しい生活様式を考慮した「できること」を探りながら、少しでも地域のふれあいやつながりの場の創出するべく検討している。 また、今後文化センターに必要な機能を庁内関係課で検討するにあたり、引続き課題の抽出・整理を行った。	・施設の利用制限(人数・内容)に協力していただいているので昨年度来の利用者減少は止むを得ない。 ・例年の業務委託予算要望額に新型コロナ防止対策費を加算し準備したが、事態の収束が見えないなか、従前の内容を変更して「できること」を模索し企画実施することはとても難しい。時間や人数を制限しながらも開催に向けた取り組みを進めるも様々な問題が生じることを懸念して実施にこぎつけない状況がある。市が現時点で課題として考えているのは、パートナー(コミ協等)の意欲の減退であるため、市側(事務局)の積極的な関わりにより、モチベーション維持に努めることが必要な時期である。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成		
実績	実績	実績	実績		
・各文化センターにおいてコミュニティ協議会への委託により、地域の連携・協力のもと、地域の特色・資源をいかした各種事業を実施し、地域のふれあいやつながりの場の創出を図った。なお、一部の行事について、荒天により中止となった。 また、今後文化センターに必要な機能を庁内関係課で検討するにあたり、課題の抽出・整理を行った。	・各文化センターにおいてコミュニティ協議会への委託により、地域の連携・協力のもと、地域の特色・資源をいかした各種事業を実施し、地域のふれあいやつながりの場の創出を図った。なお、台風15号や19号、コロナウィルス感染拡大により、一部の行事をやむなく中止した影響もあり、利用者数及び事業参加者数ともに減少となった。	・各文化センターにおいて地域住民で構成されるコミュニティ協議会への委託により各種事業を実施し、地域のふれあいやつながりの場の創出を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大により、ほとんどの事業を中止した影響を受け、利用者数及び事業参加者数ともに減少となっている。	・各文化センターにおいて地域住民で構成されるコミュニティ協議会への委託により各種事業を実施し、地域のふれあいやつながりの場の創出を図る予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大が収束せず、昨年に引続き地域まつりや運動会など大勢が一堂に会する事業は中止。実施にこぎつけた季節の催しは人数や時間を縮小したため、事業参加者数はセンター利用者数とともに減少となっている。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	0	0	0		
* 反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号 1—3—3—①	プラン名 「地域で支えあう仕組みづくり」				
	個別プラン名 「福祉相談窓口」				
担当課	地域福祉推進課	関係課			
指 標	グラフ				
地域福祉コーディネーターの地域運営支援件数と個別支援件数の合計値 (件)	地域福祉コーディネーターの地域運営支援件数と個別支援件数の合計値 (件) ※地域運営支援：組織の立上げ協議など ※個別支援：個別の電話相談など				
現状値 (平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
2,086	3,920	5,571	5,825	11,642	2,503
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼1名増員	▼2名増員して、市内全域に地域福祉コーディネーターを配置	▼市内全域で支え合いのまちづくりを推進	▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・地域福祉コーディネーターを1名増員した。 ・新たに地域福祉コーディネーターを配置した地域での困りごと相談会の実施に向け、準備を進めた。	・地域福祉コーディネーターを2名増員し、市内全域に配置した。 ・新たに地域福祉コーディネーターを配置した地域で困りごと相談会を開始した。	・新型コロナウイルス感染防止による文化センター施設の利用の一部制限に伴い、地域福祉コーディネーターによる困りごと相談会は休止した。 【休止期間】 (武蔵台、住吉、紅葉丘、押立) 4月8日から6月2週目まで (新町、片町) 4月8日から6月末まで ・困りごと相談会の休止期間も電話等により相談の受付や支援の継続を実施した。	・福祉エリアを6エリアから11エリアに見直したことにより、地域福祉コーディネーターを5名増員し、全福祉エリアに各1名配置した。 ・新型コロナウイルス感染防止対策を行い、地域福祉コーディネーターによる困りごと相談会を実施した。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価 (最終)		
A 目標値以上	A 目標値以上	A 目標値以上	A 目標値以上		
実績	実績	実績	実績		
・新たに地域福祉コーディネーターを配置した地域での困りごと相談会を開始した。	・地域福祉コーディネーターを2名増員し、市内全域に配置した。(現状6名配置) ・6名の地域福祉コーディネーターを配置したことで、月曜から金曜まで毎日、配置地域のいずれかの文化センター(武蔵台、新町、住吉、紅葉丘、押立、片町)で困りごと相談会を開催できるようになった。	・文化センターの使用再開に伴い、困りごと相談会も再開した。 ・福祉エリアの見直しに伴い、令和3年度から文化センター圏域を基礎とした11の福祉エリアに地域福祉コーディネーターを配置するための準備を進めた。	上半期に続き、11の福祉エリアにて困りごと相談会を実施した。また、福祉エリアにおける「福祉相談の拠点」を市内に展開できるよう、協議検討を行った。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
14,328	279	30,701	11,510		
* 反映金額の算出方法	委託料の増加				

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号 1—3—3—②	プラン名「地域で支えあう仕組みづくり」																																																					
担当課	個別プラン名「地域自主防災連絡会」																																																					
	防災危機管理課		関係課																																																			
指 標	グラフ																																																					
参加自治会等の安否確認の体制が確立されている割合（パーセント）	参加自治会等の安否確認の体制が確立されている割合（パーセント） <table><thead><tr><th>年度</th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値</td><td>8.14</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>H30年度</td><td></td><td>11.63</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R1年度</td><td></td><td></td><td>16.86</td><td></td><td></td><td></td></tr><tr><td>R2年度</td><td></td><td></td><td></td><td>16.86</td><td></td><td></td></tr><tr><td>R3年度</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>16.86</td><td></td></tr><tr><td>目標値</td><td></td><td></td><td></td><td></td><td></td><td>100.00</td></tr></tbody></table>					年度	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	現状値	8.14						H30年度		11.63					R1年度			16.86				R2年度				16.86			R3年度					16.86		目標値						100.00
年度	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値																																																
現状値	8.14																																																					
H30年度		11.63																																																				
R1年度			16.86																																																			
R2年度				16.86																																																		
R3年度					16.86																																																	
目標値						100.00																																																
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)																																																	
8.14	11.63	16.86	16.86	16.86	100.00																																																	
スケジュール																																																						
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																																																			
▼自治会等の防災行動計画の作成支援 ▼全圏域共通テーマ<安否確認>の設定 ▼参加自治会等の増加に向けた周知及び新たな普及方策の検討	▼防災行動計画に基づいて自治会等が行う各種防災対策の企画・実行に対する支援 ▼継続	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続																																																			
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																																																			
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない																																																			
実績	実績	実績	実績																																																			
・第1回の自主防災連絡会を各圏域にて6月下旬から7月中旬にかけて開催した。 ・「行動計画」と「安否確認活動強化ガイド」の活用方法の説明を行い自治会等の取組みを支援した。	・各文化センター圏域で自主防災連絡会を開催し、各団体の取組等について情報共有した。 ・各団体における安否確認活動の取組を推進するとともに、いくつかの圏域で組織体制を確立し、今後の活動について協議した。	・浸水想定区域内の4文化センター圏域を対象に市長と語る会を開催した。 ・新型コロナウイルスの影響で開催が難しい状況であるが、四谷文化センター圏域において補助事業を実施する予定。	・新型コロナウイルスの影響で開催が難しい状況である。																																																			
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																																																			
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった																																																			
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																																																			
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																																																			
実績	実績	実績	実績																																																			
・第2回、第3回の自主防災連絡会を各圏域で開催した。 ・既に安否確認の取組について先進的に活動している団体を紹介するなど各団体間で情報共有するとともに、自主防災連絡会の組織化に取り組み、より活動しやすい組織体制づくりを支援した。	・各文化センター圏域で自主防災連絡会を開催し、台風第19号時の各避難所や各地域での取組等について情報共有した。 ・一部圏域では学校との連携を開始し、地域主体の避難所運営について取組を始めた。	・四谷文化センター圏域において補助事業を実施し、広報紙の作成・配布及び風水害時の避難訓練を実施した。	・新型コロナウイルス感染症の影響で、会議や訓練の開催ができなかった。																																																			
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																																																			
2,000	3,000	3,000	3,000																																																			
* 反映金額の算出方法	モデル地区として3つの文化センター圏域に上限1,000,000円の補助金を交付し、これまで以上に地域の防災活動を支援していく。																																																					

（取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。）

行革プラン進行管理シート

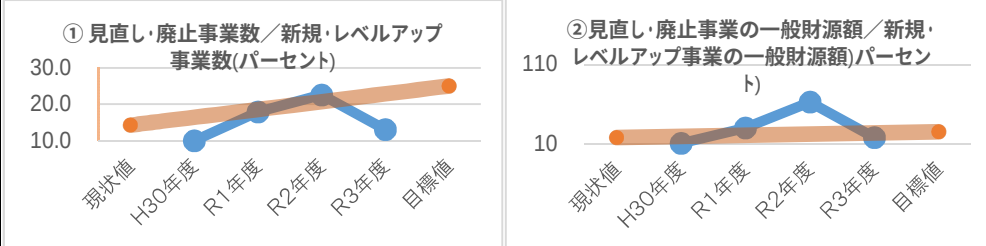
プラン番号	プラン名「総合計画の進行管理体制の強化」		
2—4—1—			
担当課	政策課	関係課	
指 標	グラフ		
なし			
スケジュール			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼総合計画の進行管理に関する調査・検討			▼次期総合計画の進行管理に関する調査・検討
▼調査・分析を踏まえた、市民参加による外部評価の仕組みの構築	▼市民参加による外部評価の試行実施	▼外部評価の実施	▼外部評価の継続
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績	実績	実績	実績
・インターネットの活用及び複数の事業者（コンサル関係）との意見交換による他市事例等の収集	・市民と市職員が意見交換を行うワークショップの開催に向けた検討	・市民と市職員が参加する「府中市総合計画市民検討会議」を開催し、これまで（第6次総合計画期間）に得られた成果や残された課題をはじめ、次期総合計画の策定に向けた見直しの論点などについて、意見交換（意見収集）を行っている。	・定期的な外部評価は行っていないが、第7次府中市総合計画（前期基本計画）の策定に当たっては、外部評価制度の導入も含め、効果的な進行管理が行えるよう検討を進めている。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）
なし	なし	なし	なし
実績	実績	実績	実績
・次年度における市民と市職員が意見交換を行うワークショップの開催の決定（※対話により市民の意見等を把握し、その内容は総合計画に基づき庁内各部署が展開している施策や事業の進行管理において活用する）	・次期総合計画の策定を見据えた上で、現行計画の振り返り等を行うワークショップを年度末に開催する予定だったが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐための重要な期間であることに鑑み、開催を中止することとした。	・市民と市職員が参加する「府中市総合計画市民検討会議」を開催し、これまで（第6次総合計画期間）に得られた成果や残された課題をはじめ、次期総合計画の策定に向けた見直しの論点などについて、意見交換（意見収集）を行ったが、定期的な外部評価制度の導入には至っていない。	・効果的な進行管理に向けて体制を強化するため、第7次府中市総合計画（前期基本計画）の策定に当たっては、外部評価制度を盛り込んだ。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
39	33	0	0
* 反映金額の算出方法	会場使用料		

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「団体に対する補助金の適正化に向けた総点検の実施」																		
2—4—2—																			
担当課	政策課	関係課																	
指 標	グラフ																		
総点検で見直しが必要と判定された事業における見直しの実施割合（パーセント）	総点検で見直しが必要と判定された事業における見直しの実施割合（パーセント） <table><caption>見直しの実施割合データ</caption><thead><tr><th>年度</th><th>実施割合（パーセント）</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値</td><td>0.0</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>44.4</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>57.8</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>57.8</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>57.8</td></tr><tr><td>目標値</td><td>100.0</td></tr></tbody></table>					年度	実施割合（パーセント）	現状値	0.0	H30年度	44.4	R1年度	57.8	R2年度	57.8	R3年度	57.8	目標値	100.0
年度	実施割合（パーセント）																		
現状値	0.0																		
H30年度	44.4																		
R1年度	57.8																		
R2年度	57.8																		
R3年度	57.8																		
目標値	100.0																		
現状値	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
-	0.0	44.4	57.8	57.8	100.0														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼総点検の実施 ▼総点検の結果のホームページ等での公表	▼総点検の結果を踏まえた6つの視点に基づく見直しの実施 ▼見直し結果の予算への反映	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績 ・府中市補助金検討会議の答申に基づき、平成29年度に「団体補助金に関する総点検の実施基準」を策定し、平成29・30年度の2か年で全54事業の補助金について総点検を実施した。	実績 ・団体補助金総点検の結果を踏まえ、各主管課において見直しの検討を行った。	実績 ・団体補助金総点検の結果を踏まえ、今後対応を予定している各主管課において、引き続き見直しの検討を行った。	実績 ・団体補助金総点検後の取組状況について本部会議で報告するとともに、引き続き見直しの検討を行った。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																
実績 ・府中市補助金検討会議の答申を受け、庁内の府中市補助金等審査委員会において「団体補助金に関する総点検の実施基準」を定め、当該基準に基づいて総点検を実施した。 ・審査の結果、「継続交付すべきもの」が21件、「見直しすべきもの」が14件となった。	実績 ・府中市補助金等審査委員会において、令和2年度予算を審査する際、団体補助金に関する総点検の結果を踏まえ、補助額等の審査を行った。 ※指標及び予算反映額については、現在集計中のため、集計され次第、ご報告いたします。	実績 ・府中市補助金等審査委員会において、令和3年度予算を審査する際、団体補助金に関する総点検の結果を踏まえ、補助額等の審査を行った。 ・上記以外にも令和3年度予算編成にあたり、各主管課において総点検の結果を踏まえた検討・対応を行った。 ・令和2年度末時点の対応済み事業数／見直しが必要な事業数は26事業／45事業であった。	令和3年度以降に対応が必要となっている事業の進捗状況について確認を行った。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
0	-4,190	-82	0																
*反映金額の算出方法	見直し結果を翌年度予算に反映した金額。																		

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「内部評価制度等に即した事務事業の最適化の推進」				
2—4—3—					
担当課	政策課	関係課	財政課		
指 標	グラフ				
① 見直し・廃止事業数／新規・レベルアップ事業数(パーセント) ② 見直し・廃止事業の一般財源額／新規・レベルアップ事業の一般財源額(パーセント)					
現状値(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
14.3	10.0	17.9	22.6	13.1	25.0
17.7	10.5	29.8	62.6	17.6	25.0
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼4年間の実績を踏まえた内部評価制度の検証・改善策検討 ▼見直し・廃止の早期対応措置の試行 ▼新規・レベルアップ事業の検証制度化(指標・目標値設定) ▼事務事業点検対象事業の整理・引継ぎ	▼新たな基準等に基づく内部評価の実施 ▼見直し・廃止の早期対応措置の実施 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼開始時に指標及び目標値を設定した新規・レベルアップ事業に対する検証作業開始		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・先進市の事例を研究した。 ・見直し・廃止の早期対応措置の試行について、予算の編成と執行に係る課題を洗い出し、各課に改善提案を行った。 ・政策会議用シート(新規・レベルアップ用)に、提案事業の終期を記載し、4年以上継続する予定の事業については、指標・目標値を設定することとした。 ・点検対象事業の扱いについて、行革本部に報告した。	・外部評価を含め、事業評価制度について検討を行った。 ・見直し・廃止の早期対応措置の試行について、予算の編成と執行に係る課題を洗い出し、各課に改善提案を行った。 ・引き続き、政策会議用シートに提案事業の終期を記載し、指標・目標値を設定した。	・次期総合計画の策定を視野に、行政評価の在り方について検討を行った。 ・見直し・廃止の早期対応措置の試行について、予算の編成と執行に係る課題の洗い出しを行った。 ・引き続き、政策会議用シートに提案事業の終期を記載し、指標・目標値を設定した。	・見直し・廃止の早期対応措置の試行について、予算の編成と執行に係る課題の洗い出しを行った。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成		
実績	実績	実績	実績		
・見直し・廃止の早期対応措置の試行について、改善提案を行い各課で見直しを進めた結果、提案の一部を予算に反映できた。 ・次年度から4年以上継続する新規・レベルアップ事業について、指標及び目標値を設定した。	・見直し・廃止の早期対応措置について、改善提案を行い各課で見直しを進めた結果、提案の一部を予算に反映できた。 ・次年度から4年以上継続する新規・レベルアップ事業について、指標及び目標値を設定した。	・見直し・廃止の早期対応措置について、改善提案を行い各課で見直しを進めた結果、提案の一部を予算に反映できた。 ・次年度から4年以上継続する新規・レベルアップ事業について、指標及び目標値を設定した。	・見直し・廃止の早期対応措置について、改善提案を行い各課で見直しを進めた結果、提案の一部を予算に反映できた。 ・次年度から4年以上継続する新規・レベルアップ事業について、指標及び目標値を設定した。また、令和元年度から開始した新規・レベルアップ事業について、達成度を確認し、次年度の方向性を検討した。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
-4,541	-1,875	-15,096	-46,784		
* 反映金額の算出方法	改善提案に基づく各課削減額の合計				

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「公共施設マネジメントの視点による公共施設の最適化」																		
2—5—1—																			
担当課	建築施設課		関係課	施設所管課															
指 標	グラフ																		
公共施設の市民1人当たりの延床面積（平方メートル/人）	公共施設の市民1人当たりの延床面積（平方メートル/人） <table><caption>公共施設の市民1人当たりの延床面積（平方メートル/人）</caption><tr><th>年度</th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr><tr><td>値</td><td>2.48</td><td>2.53</td><td>2.54</td><td>2.56</td><td>2.56</td><td>2.51</td></tr></table>					年度	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	値	2.48	2.53	2.54	2.56	2.56	2.51
年度	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
値	2.48	2.53	2.54	2.56	2.56	2.51													
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
2.48	2.53	2.54	2.56	2.56	2.51														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼第2次公共施設マネジメント推進プランに基づく最適化の取組の実施 ▼（モデル事業） 宿泊機能・サービスの今後の在り方について検討	▼継続 ▼（モデル事業） 宿泊機能・サービスの今後の在り方に関する方針の決定	▼継続 ▼（モデル事業） 方針に基づく取組の実施	▼継続 ▼（モデル事業） 継続 ▼4年間の実績に対する評価を踏まえた次期プランの策定																
（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・各施設において、平成30年度から4年間を計画期間とする第2次府中市公共施設マネジメント推進プランに基づく取組を開始した。 ・有識者、関係団体の推薦者と公募市民からなる検討協議会を設置し、モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」を検討するため、当該協議会を2回開催し、検討を進めた。	・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの廃止後の効果的な活用に向けた検討のほか、総合体育館の府中基地跡地留保地を移転先とした建替えの検討を進めるなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めている。 ・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、市としての方針の策定に向け、教育委員会や佐久穂町などの関係機関との協議・調整を進めた。	・しみずがおか高齢者在宅サービスセンター廃止後の活用策を検討したほか、朝日体育館や地域プールの処分に向けた取組を明確にするなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めている。 ・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、市としての方針の策定に向け、教育委員会や佐久穂町など関係機関との協議・調整を進めた。	・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、方針に基づく取組実施に向けて関係各所と調整を進めた。 ・府中市公共施設マネジメント基本方針の改訂に向けて検討を進めた。 ・次期公共施設マネジメント推進プランの策定に向けて検討を進めた。 ・文化・スポーツ施設の配置等適正化、総合体育館の移転等に係る基礎調査に着手した。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																
実績	実績	実績	実績																
・グリーンプラザや旧ふれあい会館の解体のほか、しみずがおか高齢者在宅サービスセンターや矢崎幼稚園の廃止に向けた条例手続を終えるなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めている。 ・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、市としての方針の策定に向け、検討協議会による検討を進め、報告書を受理した。	・第二の二本町住宅の廃止に向けた条例手続が完了したほか、東保育所と住吉保育所について、他の保育所との統合を含んだ基幹保育所としての整備を進めるなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めている。 ・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、今年度中の策定を見込んでいた市としての方針は、引き続き丁寧に協議を進めていく必要があるため、来年度中の策定にスケジュールを見直した。	・朝日体育館の廃止に向けた条例手続が完了したほか、リサイクルプラザの老朽化対策を進めるなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めた。また、新設する児童発達支援センターの機能整理を行った。 ・公共施設マネジメントの取組を市民に周知するとともに、市民意見を取り入れるためオープンハウスを実施した。 ・モデル事業3「宿泊機能・サービスの今後の在り方」について、方針（案）を作成し、パブリックコメント手続を行い、市としての方針を策定した。	・地域プールの一部廃止に向けた条例手続を終えるなど、第2次公共施設マネジメント推進プランの取組を着実に進めた。目標値については、未達成であった。 ・公共施設マネジメントの取組を市民に周知するため、オープンハウスや市民協働まつりに参加した。また、SNSを活用し、定期的に情報を発信できる体制を整備した。 ・策定から一定期間が経過した公共施設マネジメント基本方針を改定するとともに、次期プランとして第3次公共施設マネジメント推進プランを策定した。 ・文化・スポーツ施設の配置等適正化、総合体育館の移転等に係る基礎調査を進めるとともに、市民ワークショップ等を開催した。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
0	0	0	0																
*反映金額の算出方法																			

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「公共施設マネジメントの視点による公共施設の計画的保全」		
2—5—2—			
担当課	建築施設課	関係課	施設所管課
指 標	グラフ		
なし			
スケジュール			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼第2次公共施設マネジメント推進プランに基づく計画的保全の取組の実施 ▼（モデル事業） 包括管理業務委託の実施に向けた検討	▼継続 ▼（モデル事業） 包括管理業務委託の試行的実施	▼継続 ▼（モデル事業） 継続	▼継続 ▼（モデル事業） 試行的実施の継続と効果の検証 ▼4年間の実績に対する評価を踏まえた次期プランの策定
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績	実績	実績	実績
・施設改修履歴システムの運用を開始した。 ・各施設所管課による劣化状況調査を実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」の試行的実施に向けて検討を進めた。	・各施設所管課による劣化状況調査を実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、保育所等の対象施設について、専門性を有する民間事業者等による劣化状況調査を実施し、劣化度を考慮した修繕の実施に向けた準備を進めたほか、次年度以降の展開について検討した。	・各施設所管課による劣化状況調査を実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、民間事業者による対象施設の劣化状況調査を実施したほか、より効率的に施設保全を進めるための中長期的な修繕計画の作成を行った。また、修繕方法の効率化を図るため、単価契約を導入した。	・各施設所管課による劣化状況調査を実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、これまでの取組に加え、昨年度の劣化状況調査に基づく各施設の修繕を実施した。また、今後の制度設計や対象施設などを検討するため、市内事業者との意見交換会を2回開催した。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）
なし	なし	なし	なし
実績	実績	実績	実績
・劣化状況調査の結果等を基に、改修工事の優先順位付けを実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」の試行的実施に向けて、準備を整えた。	・各施設所管課による劣化状況調査の結果等を基に、改修工事に加えて、修繕や調査委託など、投資的経費に計上される全ての案件の優先順位付けを実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、専門性を有する民間事業者による劣化状況調査や、各種工事・修繕の優先順位付けを行った。また、今年度の取組を踏まえ、次年度以降の展開について整理した。なお、モデル事業4の対象施設について、修繕方法の効率化を図るため、試行的に導入する単価契約に向けた準備を整えた。	・各施設所管課による劣化状況調査の結果等を基に、改修工事に加えて、修繕や調査委託など、施設に関わる投資的経費の優先順位付けを実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、専門性を有する民間事業者による劣化状況調査や、修繕等優先順位リスト、長期修繕計画の作成などを行った。また、試行期間が令和3年度末までであることから、その後の展開を検討することにあたって、これまでの取組における効果について整理した。そのほか、修繕方法の効率化のため、試行的に単価契約を導入したほか、運用状況等を踏まえ、次年度におけるより効率的な運用に向けて準備を整えた。	・各施設所管課による劣化状況調査の結果等を基に、改修工事に加えて、修繕や調査委託など、施設に関わる投資的経費の優先順位付けを実施した。 ・モデル事業4「包括管理業務委託による公共施設の維持・保全」では、専門性を有する民間事業者による劣化状況調査や、修繕等優先順位リスト、長期修繕計画の作成などを行った。 ・包括管理業務委託については、単年度ごとの評価を踏まえ、令和4年度には総合的な評価と、今後の方針を策定することとした。なお、方針策定後の新たな取組に移行するまでの間は、修繕業務を除き、これまでと同様の施設及び業務を対象とした包括管理業務委託を続けていくこととした。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
20,574	17,106	14,984	-25,871
* 反映金額の算出方法	前年度の包括管理業務委託に係る予算額との差額（前年度と比較して、包括管理業務委託で委託する業務が増加しているため、予算額も増加している。）		

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「インフラマネジメント計画に基づくインフラの維持管理施策の実施」																		
2—5—3—																			
担当課	道路課	関係課	建築施設課、ふるさと文化財課、公園緑地課、下水道課																
指 標	グラフ																		
社会基盤の保全・整備に満足している市民の割合(パーセント)	社会基盤の保全・整備に満足している市民の割合(パーセント) <table><thead><tr><th>項目</th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>割合(パーセント)</td><td>57.9</td><td>56.5</td><td>52.3</td><td>55.5</td><td>52.6</td><td>60.0</td></tr></tbody></table>					項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	割合(パーセント)	57.9	56.5	52.3	55.5	52.6	60.0
項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
割合(パーセント)	57.9	56.5	52.3	55.5	52.6	60.0													
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
57.9	56.5	52.3	55.5	52.6	60.0														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼インフラマネジメント計画(2018年度)の公表・推進 ▼道路等包括管理事業(北西地区)開始	▼インフラマネジメント計画(2018年度)の推進 ▼道路等包括管理事業(北西地区)検証	▼継続 ▼道路等包括管理事業(北西地区)終了及び(市内全域)募集	▼継続 ▼道路等包括管理事業(市内全域)開始																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・7月に策定したインフラマネジメント計画(2018年度)を、8月に公表し、施策に位置付けた取組を推進している。 ・4月から道路等包括管理事業(北西地区)を開始し、道路の日常の維持管理やケヤキ並木の枯損枝等の除去などを実施している。 ・街路灯・公園灯のLED化、維持管理業務を含めたESCO事業を実施している。 ・その他の施策についても、着手可能なものから検証及び検討し、計画の取組スケジュールに基づき推進している。	・道路等包括管理事業(北西地区)が始まり1年が経過したため、内容を評価、検証し、より良い事業となるように検討している。 ・インフラマネジメントを市民に知ってもらうための方法について、協働により検討している。 ・その他の施策についても、インフラマネジメント計画(2018年度)の取組スケジュールに基づき、継続して推進及び検討している。	・道路等包括管理事業(北西地区)は、受注者の適切かつ確実な実施を確保するため、モニタリングを実施している。 ・次期道路等包括管理事業(東地区、南西地区、北西地区)は、公募型プロポーザル方式で募集を行い受注候補者の選定手続きを進めている。 ・インフラマネジメント計画を継続して推進し、平成30年度から令和3年度の短期計画で未着手の取組は、本年度中に着手することを確認した。	・道路等包括管理事業(東、南西、北西地区)を開始し、市民等からの要望相談を受付ける道路管理センターを設置し市民サービスの向上を図りつつ、道路の日常の維持管理を実施している。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)を継続して推進し、短期計画(平成30年度から令和3年度)の取組について確認するとともに、有識者等で構成された委員会を設置し、短期計画の評価及び令和4年度からの中期計画に向けた方針の検討を進めている。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成																
実績	実績	実績	実績																
・市民にインフラマネジメントを知ってもらうため、パンフレットを作成し、シンポジウムを開催した。 ・府中駅ペDESTリアンデッキの点検を実施した。 ・ESCO事業による街路灯・公園灯のLED照明化が完了した。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の取組の進捗状況は、Aが36件となった。取組件数63件に占める割合は57.1%という結果となった。	・道路等包括管理事業(北西地区)をより良い事業とするために、市内事業者との意見交換会を3回開催した。 ・市民協働のまちづくりカフェで、周知方法の提案を受けた。 ・サービス料金の適正化として、複写を廃止し、証明手数料に一元化した。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の取組の進捗状況は、Aが46件となった。取組件数63件に占める割合は73.0%という結果となった。	・次期道路等包括管理事業(東地区、南西地区、北西地区)は、公募型プロポーザル方式で募集を行い受注候補者の選定手続きを進めた。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の平成30年度から令和3年度の短期計画の取組状況及び令和4年度から令和11年度の中期計画の取組内容等について、各主管課にヒアリングを実施した。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の取組の進捗状況は、Aが49件となった。取組件数63件に占める割合は77.8%という結果となった	・道路等包括管理事業(東、南西、北西地区)を開始し、市民等からの要望相談を受付ける道路管理センターを設置し市民サービスの向上を図りつつ、道路の日常の維持管理を実施した。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の短期計画(平成30年度から令和3年度)について、有識者等で構成された委員会を設置し、短期計画の評価及び令和4年度からの中期計画に向けた取組方針をまとめた。 ・インフラマネジメント計画(2018年度)の各施策の短期計画における取組は、継続して実施している。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
(歳入増)40,647、(歳出減)164,810	(歳入増)101,121、(歳出減)146,231	(歳入増)51,557、(歳出減)239,746	(歳入増)69,126、(歳出減)243,059																
*反映金額の算出方法	「翌年度予算への反映」ではなく、インフラマネジメント計画(2018年度)短期進捗評価一覧表における効果額を採用																		

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市有財産活用の推進」				
2—5—4—					
担当課	財産活用課		関係課	政策課、建築施設課	
指 標	グラフ				
公共施設マネジメントの進捗に伴って生み出された公共施設跡地等について、新たな活用を行った数(件)	公共施設マネジメントの進捗に伴って生み出された公共施設跡地等について、新たな活用を行った数(件)				
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
0	5	6	7	13	5
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼旧保健センター分館の新たな活用の開始 ▼府中グリーンプラザ閉館後の新たな活用に向けた選定事業者との調整 ▼市有財産活用基本方針の運用	▼府中グリーンプラザ敷地の新たな活用の準備 ▼継続	▼府中グリーンプラザ敷地の新たな活用の開始 ▼継続	▼府中グリーンプラザ敷地の新たな活用の開始 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・平成30年4月1日よりふれあい会館（旧保健センター分館）の稼働を開始した。 ・府中グリーンプラザ敷地活用事業における選定事業者からの事業計画書を受理、並びに選定事業者との各種契約の締結（建物無償譲渡契約、事業用定期借地権設定契約、解体撤去に係る協定書）。	・旧府中グリーンプラザの解体及び同敷地における新施設の建設のため選定事業者及び関係機関等との調整を実施した。 ・市有財産活用基本方針に沿って、庁内調整を実施するとともに、未利用となっていた旧南白糸台ゲートボール場跡地をコイン式駐車場として暫定的に転用を行った。	・旧学校給食センターの解体工事を実施した。 ・旧ワークランチの解体に向けた準備を進めた。 ・旧矢崎幼稚園の解体工事に着手した。 ・コイン式駐車場として貸し付けられている府中町丁目公共用地について従前の契約期間満了により入札により新たな貸付け者を選定した。 ・旧市営第二の二本町市営住宅敷地及び周辺市有地について活用の検討を行った。 ・令和3年3月31日をもって廃止を予定している小柳幼稚園の跡地の利活用の検討に着手した。 ・しみずがおか高齢者在宅支援サービスセンターの跡地は引き続き利活用検討を進めた。 ・旧ワークランチ、旧朝日保育所の跡地は引き続き利活用検討を進めた。	・旧市営第二の二本町市営住宅敷地及び周辺市有地について活用の検討を行った。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの跡地は引き続き利活用検討を進めた。 ・旧ワークランチ、旧朝日保育所の跡地は引き続き利活用検討を進めた。 ・旧矢崎幼稚園の跡地は児童発達支援センター（仮）にすることとし、建築設計を行った。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）		
B 目標値達成	B 目標値達成	B 目標値達成	B 目標値達成		
実績 ・ふれあい会館（旧保健センター分館）は同敷地へ移転以後、特に問題もなく安定稼働に入った。 ・旧白糸台出張所跡地は、公園整備を行った後、3月末に供用開始となっている。 ・矢崎幼稚園は、庁内で整理した。 ・旧府中グリーンプラザは、解体工事に着手するとともに、新施設の供用開始に向けて諸課題の整理を引き続き行っている。 ・旧南白糸台ゲートボール場については、時間貸し駐車場として活用することで進めている。 ・旧給食センターについては、解体設計を終え、次年度から2か年で工事を行う予定である。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターについては、廃止後の利活用について検討を進めた。 ・翌年度以降も引き続き跡地活用の推進を図っていく。	実績 ・旧矢崎幼稚園跡地は、児童発達支援センターとして活用することで整理した。 ・旧府中グリーンプラザ等解体工事は、警察等協議により令和2年度竣工で進めている。 ・旧南白糸台ゲートボール場跡地は、令和元年8月からコイン式駐車場として貸付を行った。 ・旧給食センターは、解体工事に着手し、令和3年度竣工で進めている。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンター跡地は、引き続き利活用の検討を進めた。 ・市営第二の二本町住宅の廃止（令和2年3月中旬）予定に伴い、次年度の解体工事を予定するとともに、周辺市有地を含めた利活用の検討に着手した。 ・旧ワークランチ跡地、朝日保育所は、次年度の解体工事を予定しており、跡地の利活用の検討に着手した。 ・新町一丁目公共用地は新町第2公園を拡張することで活用を図った。 ・翌年度以降も引き続き跡地活用の推進を図っていく。	実績 ・旧学校給食センター及び旧ワークランチ、旧矢崎幼稚園、旧朝日保育所、旧第二の二本町住宅の解体工事が完了した。 ・旧市営第二の二本町市営住宅敷地及び周辺市有地について活用の検討を行った。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンターの跡地は引き続き利活用検討を進めた。 ・旧ワークランチ、旧朝日保育所、小柳幼稚園の跡地は引き続き利活用検討を進めた。 ・宮町1丁目公共用地は公園用地として活用を図った。 ・翌年度以降も引き続き跡地活用の推進を図っていく。	実績 ・旧市営第二の二本町住宅敷地を本町保育所移転・新設用地として、本町保育所跡地を民間事業用地として活用することで整理した。 ・しみずがおか高齢者在宅サービスセンター跡地は、教育センターを移転することとし、活用のための改築に向けた建築設計を行った。 ・教育センター、旧西部出張所は利活用検討に着手した。 ・旧ワークランチ跡地、旧朝日保育所跡地、旧小柳幼稚園跡地、保健センターの今後発生する空き床は引き続き利活用検討を進めた。 ・みどり幼稚園跡地は新庁舎建設に伴う暫定的な執務室として活用することで整理した。 ・白糸台プール跡地を公園用地として活用することで整理するとともに、解体設計を完了した。 ・朝日体育館の廃止及び建物の老朽化に伴い、次年度の解体工事を予定するとともに、跡地の利活用検討に着手した。 ・西部保育所の廃止及び建物の老朽化に伴い、次年度の解体工事を予定するとともに、跡地の利活用の検討を行った。 ・旧矢崎幼稚園跡地を児童発達支援センター（仮）にすることとし、建築設計が完了した。 ・廃棄物保管容器設置跡地について、自動販売機場所として貸付けることとして活用を進めている。 ・市有地の活用に係る着手の優先順位について検討に着手した。 ・翌年度以降も引き続き跡地活用の推進を図っていく。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
(歳入増) 1,200 (歳出増) 10,180	(歳入増) 20,069 (歳出) 34,790	(歳入増) 16,477 (歳出) 45,690	(歳入増) 220(歳出)387,866		
* 反映金額の算出方法	(歳入増) 土地貸付収入 (旧グリーンプラザ跡地) (歳出) 旧市営第二の二本町住宅敷地地盤調査委託 (歳出) 府中市営第二の二本町住宅敷地活用アドバイザー委託 (歳出) 朝日保育所・小柳幼稚園測量委託 (歳出) 本町保育所・西部保育所アスベスト含有調査委託 (歳出) 教育センター基本・実施設計委託 (歳出) 清水が丘在宅支援センター跡施設アスベスト含有調査委託 (歳出) 小柳幼稚園アスベスト含有調査委託 (歳出) 小柳幼稚園PCB含有調査委託 (歳出) 小柳幼稚園解体工事設計委託				

(歳出についてはこの取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「公共施設等の整備・改修におけるPPP/PFI手法の検討・導入」																		
2—5—5—																			
担当課	政策課	関係課	財産活用課、建築施設課																
指 標	グラフ																		
公共施設等の整備・改修におけるPPP/PFI手法の優先的検討を行った事業数(事業)	公共施設等の整備・改修におけるPPP/PFI手法の優先的検討を行った事業数(事業) <table><thead><tr><th>年度</th><th>事業数</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値 (平成29年度)</td><td>0</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>1</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>1</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>2</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>1</td></tr><tr><td>目標値</td><td>2</td></tr></tbody></table>					年度	事業数	現状値 (平成29年度)	0	H30年度	1	R1年度	1	R2年度	2	R3年度	1	目標値	2
年度	事業数																		
現状値 (平成29年度)	0																		
H30年度	1																		
R1年度	1																		
R2年度	2																		
R3年度	1																		
目標値	2																		
現状値 (平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
0	1	1	2	1	2														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼優先的検討規程が適正に運用されるための体制構築（所管組織及び所掌事務の整理、庁内検討会議の設置） ▼新たなPPP/PFI手法の研究	▼優先的検討規程に基づいたPPP/PFI手法導入に係る進捗状況の管理	▼優先的検討規程に基づいたPPP/PFI手法導入に係る進捗状況の管理	▼継続																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・府中市PPP/PFI手法導入ガイドラインを策定し、議会へ報告を行うとともに、市ホームページにて公表した。 ・新たな施設整備や既存施設の大規模改修等を予定している施設について、情報収集を行った。	府中市PPP/PFIガイドラインに基づき、新たに整備する施設や大規模改修を予定している既存施設について、PPP/PFI手法導入の検討を行った。 また、新たに整備する施設について、現在、導入可能性調査を実施しており、その進捗を管理した。	・新たな施設整備や既存施設の大規模改修等を予定している施設について、情報収集を行った。	・リサイクルプラザのPPP/PFI導入の進捗管理を行うとともに、引き続き整備や改修を予定している施設についての情報収集を行った。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	B 目標値達成	B 目標値達成																
実績	実績	実績	実績																
・平成30年7月には、府中市PPP/PFI手法導入ガイドラインを整備した。 ・その後、庁内職員向けの説明会を開催し、ガイドラインの周知を図った。 ・11月にはPPP/PFI手法の庁内検討会議を設置し、今後、予定される公共施設整備事業についての検討を行った。	・児童発達支援センター（仮称）整備について、PPP/PFI手法導入ガイドラインに基づき、導入可能性調査（詳細な検討）を実施した。	・リサイクルプラザの整備と府中の森芸術劇場本館の改修について、PPP/PFI手法導入ガイドラインに基づき、導入可能性調査（簡易な検討）を実施した。このうち、リサイクルプラザの整備については、PPP手法導入による効果が期待できるため、詳細な検討を進めることとした。	リサイクルプラザの整備事業について、PPP/PFI手法導入ガイドラインに基づき、導入可能性調査（詳細な検討）を実施した。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
4,500	0	0	0																
* 反映金額の算出方法	児童発達支援センターの導入可能性調査に係る予算額の概算																		

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市民サービスの向上及び管理運営経費削減に向けた指定管理者制度の見直し」		
2—5—6			
担当課	政策課	関係課	建築施設課
指 標	グラフ		
なし			
スケジュール			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼自主事業の拡大や利用料金制の活用など、インセンティブ付与の研究 ▼制度導入施設の効果分析に基づく最適な施設管理手法の検証 ▼指定管理制度導入に向けた検討・課題整理	▼研究結果に基づく見直しの実施 ▼検証結果に基づく見直しの実施	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績 ・令和2年度をもって指定期間が満了となる施設が9施設あり、管理運営の方法について検証を行うとともに、一部の施設では他の管理手法についても研究した。	実績 指定管理者制度を導入している施設について、管理運営手法の検証を行った。	実績 ・PFI手法と同時に指定管理者制度を導入する際の手続の効率化を図るため、必要な条例改定手続を行った。	実績 令和5年度から新たに指定管理者制度を導入する施設について、その方針について決定した。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)
なし	なし	なし	なし
実績 ・平成31年2月に、指定管理者制度を導入している施設のうち8施設の指定期間が令和2(2020)年度をもって満了することから、それらの施設の選定の方向性について決定した。 ・指定管理者制度は導入後15年が経過し、様々な課題が出てきていることから、指定管理者から提出された事業報告書やモニタリングの結果を踏まえて、課題等の整理を行った。	実績 ・令和2年度をもって指定期間が満了する施設について、選定方針を決定した。 ・決算審査及び定期監査等において、公の施設ごとに修繕費の取扱いが異なっているとの指摘がなされていたため、公の施設における修繕費の取扱いについて確認し、取りまとめた。	実績 ・PFI手法と同時に指定管理者制度を導入する際の手続の効率化を図るため、必要な条例改定手続を行うとともに、「府中市公の施設における指定管理者制度に関する運用指針」を改定した。 ・令和3年度をもって指定期間が満了する施設について、選定方針を決定した。	実績 ・「指定管理者の選定結果の公表に係るガイドライン」を令和3年12月に改訂し、公募時の評価結果について、合計得点だけでなく項目ごとの得点も明記する形に変更した。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
0	0	0	0
*反映金額の算出方法			

行革プラン進行管理シート

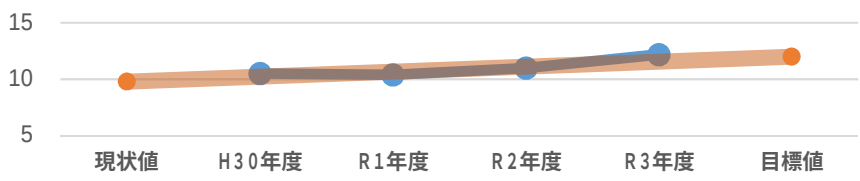
プラン番号		プラン名「多様な手法を用いた人材の育成」	
2—6—1			
担当課	職員課	関係課	
指 標	グラフ		
なし			
スケジュール			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼研修情報の提供 ▼研修生の感想・アンケート結果を踏まえた研修内容の見直し・充実 ▼実践的かつ効果的な研修メニューの研究・企画 ▼研修計画の策定	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績	実績	実績	実績
・研修計画を策定し、年度初めに周知することで、研修の概要や年間スケジュール等の情報提供を行った。 また、研修生から研修受講報告を提出してもらい研修の効果を測ったほか、他市との情報交換を行うなど、研修メニューの研究を行った。	・昨年度の研修の効果測定をもとに研修計画を策定し、年度初めに周知することで、研修の概要や年間スケジュール等の情報提供を行った。 また、研修生から研修受講報告を提出してもらい研修の効果を測ったほか、他市との情報交換を行うなど、研修メニューの研究を行った。	・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修を中止又は延期としたが、感染症対策を講じたうえで、可能な限り実施した。 また、感染症対策として、回数を分けて実施したことによる時間短縮の影響について、研修受講報告等から分析を行った。	・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修を中止又は延期としたが、感染症対策を講じたうえで、可能な限り実施した。 また、昨年度の検討の結果、時間を短縮して実施した研修について、研修受講報告等を分析し、研修効果に問題がないことを確認できた。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）
なし	なし	なし	なし
実績	実績	実績	実績
・今年度予定していた研修については、研修計画どおりに実施できた。 ・研修生からの提出してもらった研修受講報告から研修効果を測ったほか、他市との情報交換等を踏まえて、次年度に向けての研修メニューを企画した。	・今年度予定していた研修については、研修計画どおりに実施できた。 ・研修生から提出してもらった研修受講報告により研修効果を測ったほか、他市との情報交換等を踏まえて、次年度に向けての研修メニューを企画した。	・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修を中止したが、感染症対策を講じたうえで、可能な限り実施した。 ・感染症対策として、回数を分けて実施したことによる時間短縮の影響について、研修受講報告等から分析を行い、次年度の研修計画へ反映した。	・新型コロナウイルス感染症の影響で一部の研修を中止又は延期としたが、感染症対策を講じたうえで、可能な限り実施した。 ・研修生から提出してもらった研修受講報告を参考に、研修時間を短くする等、研修内容を見直した。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
0	0	0	0
* 反映金額の算出方法			

行革プラン進行管理シート

プラン番号 2—6—2—	プラン名「計画的な定員の管理」																
担当課	職員課		関係課														
指 標	グラフ																
職員数（再任用フルタイム職員を含む）（人）	職員数（再任用フルタイム職員を含む）（人） <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>1,310</td><td>1,304</td><td>1,319</td><td>1,322</td><td>1,313</td><td>1,280</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	1,310	1,304	1,319	1,322	1,313	1,280
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
1,310	1,304	1,319	1,322	1,313	1,280												
※再任用フルタイム職員：定年退職後に再度任用された者であって、正規職員と同様に常時勤務を要する職員																	
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
1,310	1,304	1,319	1,322	1,313	1,280												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼必要な職員数を確保するための採用計画の立案 ▼矢崎幼稚園の廃園に伴う職員配置の検討	▼継続 ▼朝日保育所の廃止に伴う職員配置の検討	▼継続 ▼美好保育所の休止に伴う職員配置の検討 ▼小柳幼稚園の廃園に伴う職員配置の検討 ▼道路等包括管理事業（市内全域）の開始に伴う職員配置の検討	▼継続 ▼業務量調査の試行実施に係る検証結果を踏まえた職員配置の検討														
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない														
実績 ・退職予定者数を勘案した上で、持続可能な組織及び職員体制を維持するとともに、職種別年齢構成の平準化を図るため、新規採用職員を一定数確保するための職員採用計画を立案した。	実績 ・退職予定者数を勘案した上で、持続可能な組織及び職員体制を維持するとともに、職種別年齢構成の平準化を図るため、新規採用職員を一定数確保するための職員採用計画を立案した。 ・新規採用職員の年齢要件を見直し、幅広い人材の確保を図った。	実績 ・退職予定者数を勘案した上で、持続可能な組織及び職員体制を維持するとともに、職種別年齢構成の平準化を図るため、新規採用職員を一定数確保するための職員採用計画を立案した。 ・新型コロナウイルス感染症がまん延している状況にあっても、確実に新規職員採用を実現するため、試験方法を大きく見直した。	実績 ・退職予定者数を勘案した上で、持続可能な組織及び職員体制を維持するとともに、職種別年齢構成の平準化を図るため、新規採用職員を一定数確保するための職員採用計画を立案した。 ・令和3年4月1日の職員数が計画目標値を超えたため、目標を達成できなかった。														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）														
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成														
実績 ・事業の進捗や退職者数を勘案した職員の採用と配置を行いながら、適正な職員数の確保に努めた結果、目標値の達成に適合する定員管理を行うことができています。	実績 ・事業の進捗や退職者数を勘案した職員の採用と配置を行いながら、適正な職員数の確保に努めた結果、目標値に対して増加傾向にあるが、業務量と必要性に応じた定員管理となっている。	実績 ・事業の進捗や退職者数を勘案した職員の採用と配置を行いながら、適正な職員数の確保に努めた結果、目標値に対して増加傾向にあり、当初の目標値の達成は難しい状況にあるが、現状の業務量と必要性に応じた定員管理となっている。 ・新型コロナウイルス感染症がまん延している状況を考慮した新たな試験方法を実施し、一定数の新規採用職員を確保した。	実績 ・事業の進捗や退職者数を勘案した職員の採用と配置を行いながら、適正な職員数の確保に努めた結果、目標値に対して増加傾向にあり、当初の目標値の達成は難しい状況にあるが、現状の業務量と必要性に応じた定員管理となっている。														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
197,435	215,270	-109,414	154,005														
*反映金額の算出方法	令和2年度職員給与費等予算額との差額																

(取組を進めていくための経費のため、効果額には参入しない)

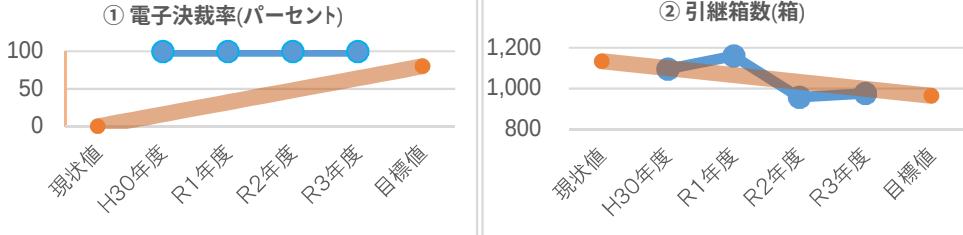
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「働き方改革によるワーク・ライフ・バランスの推進」																
2—6—3—																	
担当課	職員課	関係課															
指 標	グラフ																
職員1人当たりの1年間における年次有給休暇取得日数（日）	職員1人当たりの1年間における年次有給休暇取得日数（日）  <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>9.8</td><td>10.5</td><td>10.4</td><td>11.0</td><td>12.2</td><td>12.0</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	9.8	10.5	10.4	11.0	12.2	12.0
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
9.8	10.5	10.4	11.0	12.2	12.0												
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
9.8	10.5	10.4	11.0	12.2	12.0												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼年次有給休暇の取得促進（目標設定） ▼ノー残業デーの徹底（目標設定） ▼時差勤務の導入に向けた検討 ▼ワーク・ライフ・バランスの意識改革（「働き方」に加えて「休み方」に対する啓発）	▼継続 ▼継続 ▼時差勤務の試行 ▼継続（庁内通知や職員報による周知・啓発）	▼継続 ▼継続 ▼時差勤務の本格運用開始 ▼継続	▼継続（目標値の再設定） ▼継続（目標値の再設定） ▼継続 ▼継続														
（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる														
実績	実績	実績	実績														
・多様な勤務形態を設けることによって、より柔軟な働き方を可能とする「時差勤務」の試行を開始（5月～10月） ・全庁的な年休取得の目標設定（昨年度比＋1日）及びノー残業デーにおいて超過勤務を実施する場合における代替日の事前設定を実施。	・当初の計画から2年前倒しで制度化することができた「時差勤務」については、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができています。 ・働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が施行されたことを踏まえ、年5日以上年休を確実に取得する取組を開始。	・「時差勤務」については、安定的な運用ができており、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができています。 また、新型コロナウイルス感染症がまん延している状況において、通勤時における感染リスクの低減を図るための実施を徹底した。	・新型コロナウイルス禍において、時差勤務を活用し、感染拡大を防ぐとともに、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができています。 ・新型コロナウイルス禍において、各課の業務の状況を踏まえ、所属長の判断により出勤者数の削減を目的とした在宅勤務を実施した。またテレワークによる在宅勤務の試行を実施した。														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	A 完了(目標を達成)														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）														
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	A 目標値以上														
実績	実績	実績	実績														
・「時差勤務」については、職員アンケートの調査結果における要望及び各職場における安定的な運用が確認できたことを踏まえ、当初の計画から2年前倒しで制度化（通年実施）することができた。 ・職員報を活用した「休み方」の意識変革に係る啓発を実施。 ・年次有給休暇の取得日数については、前年と比較して増加しており、啓発等による一定の成果が得られている。	・「時差勤務」については、安定的な運用ができており、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができています。 ・働き方改革を推進するための関係法律の整備に関する法律が施行されたことを踏まえ、年5日以上年休を確実に取得する取組を開始しており、休暇取得状況の「見える化」によって取得促進が図られている。	・「時差勤務」については、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができていないことに加えて、新型コロナウイルス感染症がまん延している状況においては、通勤時における感染リスクやいわゆる密の回避に寄与した。 ・年5日以上年休を確実に取得する取組が浸透してきており、休暇取得状況の「見える化」によって取得促進が図られている。	・「時差勤務」については、職員が各々の生活スタイルや働き方に合わせた活用ができていないことに加えて、新型コロナウイルス感染症がまん延している状況においては、通勤時における感染リスク低減のため、活用することを推進した。 ・各課において有給休暇を取得する取組が浸透したことにより、取得率の増加につながった。														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
0	0	0	0														
*反映金額の算出方法																	

行革プラン進行管理シート

プラン番号 2—6—4—	プラン名「職員提案制度の充実による組織の活性化」																
担当課	政策課		関係課	職員課													
指 標	グラフ																
業務改善提案（実施済）の件数 （件）	業務改善提案（実施済）の件数（件） <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>15</td><td>10</td><td>8</td><td>5</td><td>11</td><td>20</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	15	10	8	5	11	20
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
15	10	8	5	11	20												
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値（令和3年度）												
15	10	8	5	11	20												
スケジュール																	
平成30年度（2018年度）	令和元年度（2019年度）	令和2年度（2020年度）	令和3年度（2021年度）														
▼提案者の提案意欲の向上及び十分に研究された提案数の増加を図る方策の検討・実施	▼前年度の実施状況の検証を経た取組の実施	▼継続	▼継続														
（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	B 計画通りに進んでいる														
実績	実績	実績	実績														
・今年度の職員提案について、下半期に募集を開始することから、提案増となるよう、募集に向けた準備を進めた。	・提案意欲の向上のため、職員提案テーマを2つ設定するなど提案増となるよう取り組み、募集を開始した。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図った。	・幅広い分野からの提案を募集するため、今年度はテーマを設定せずに募集した。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図った。 ・提案募集時期を変更したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響による業務量の増加等から、提案数は昨年度より減少した。	・提案意欲の向上や提案のきっかけづくりのため、職員提案テーマを設定するなど提案増となるよう取り組んだ。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図った。 ・その結果、昨年度より提案件数が増加した。														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）														
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成														
実績	実績	実績	実績														
・提案意欲の向上のため、職員提案テーマを2つ設定するなど提案数増加に努め、翌年度以降の業務改善提案（実施済）の件数増加に向け取り組んだ。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図ったが、現状値より提案件数は減少した。	・提案意欲の向上のため、職員提案テーマを2つ設定するなど提案数増加に努め、翌年度以降の業務改善提案（実施済）の件数増加に向け取り組んだ。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図ったが、現状値より提案件数は減少した。	・幅広い分野からの提案を募集するため、今年度はテーマを設定せずに募集した。 ・各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図った。 ・提案募集時期を変更したこと、また、新型コロナウイルス感染症の影響による業務量の増加等から、提案数は昨年度より減少した。	・評価対象の4年間のうちでは、もっとも多い件数となった。取組としては、各課でのPR用ポスターの掲出や庁内放送により周知を図り、また、複数回周知メールを送付したことにより、例年より多い提案数となったことが考えられる。														
翌年度予算への反映（千円）	翌年度予算への反映（千円）	翌年度予算への反映（千円）	翌年度予算への反映（千円）														
0	0	0	0														
*反映金額の算出方法																	

行革プラン進行管理シート

プラン番号 3—7—1—		プラン名「文書管理システムの活用推進」			
担当課		法制文書課		関係課	情報管理課
指 標		グラフ			
① 電子決裁率(パーセント) ② 引継箱数(箱)					
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
0	99.9	99.9	99.9	99.9	80
1,134	1,096	1,160	957	977	964
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼文書管理システムの稼働開始 ▼文書管理システムの運用等に関する指導の実施	▼文書管理システムの運用 ▼継続	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・文書管理システムの稼働に当たっては、大きな混乱も生じず、円滑な運用を図ることができた。 ・電子決裁率について、運用上システムを使用せずに起案するとされている文書を除き、100%に近い率で運用できているが、これは、日々の指導及び相談体制の充実に努めてきた成果であると考えられる。	・電子決裁率について、運用上システムを使用せずに起案するとされている文書を除き、100%に近い率で運用できているが、これは、日々の指導及び相談体制の充実に努めてきた成果であると考えられる。	・電子決裁率について、運用上システムを使用せずに起案するとされている文書を除き、100%に近い率で運用できているが、これは、日々の指導及び相談体制の充実に努めてきた成果であると考えられる。 ※引継箱数については旧規格の箱数で換算	・日々の指導及び相談体制の充実に努めた結果、電子決裁率については、引き続き100%に近い率で運用できている。 ・新庁舎への移転に備えるため、引継箱の規格を変更したことで、1箱当たりの文書収納量が少なくなったが、文書量自体は減少しており、文書管理システムの導入効果が表れていると考える。 ※引継箱数については旧規格の箱数で換算		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成		
実績	実績	実績	実績		
・文書管理システムの稼働開始 ・文書ファイル監査の実施	・文書管理システムの運用 ・文書ファイル監査の実施	・文書管理システムの運用 ・文書ファイル監査の実施(書面での自己点検)	・文書管理システムの運用 ・文書ファイル監査の実施		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	0	0	0		
* 反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号 3—8—1—	プラン名 「基幹システムの最適化による事務作業の効率化」				
担当課	情報管理課	関係課			
指 標	グラフ				
基幹システムに移行した個別システム数(システム)	基幹システムに移行した個別システム数(システム)				
現状値(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
7	7	11	11	11	11
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼個別システムの調査及び基幹システムへの移行に向けた準備作業	▼基幹システムの更改及び個別システムの移行	▼安定的なシステム運用	▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
- 個別システムから基幹システムへ移行した場合に、不足している機能や帳票等についての調査や運用方法について、関係課との打合せを実施。 - 移行した際の費用についての調査を実施。	- 基幹システムの更改へ向けて、各種打合せや準備作業を行った。 - 個別システムについて、基幹システムへの移行に向けて、関係課との打合せやデータ移行作業等を行った。	統合した個別システムを含め、基幹システム全体として、特段の問題もなく、安定的な運用ができています。	統合した個別システムを含め、基幹システム全体として、特段の問題もなく、安定的な運用ができています。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	A 完了(目標を達成)		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	B 目標値達成	B 目標値達成	B 目標値達成		
実績	実績	実績	実績		
基幹システムへ移行する個別システムの種類及び費用が決定。	令和2年1月から稼働した新たな基幹システムに、4つの個別システムを統合した。	特段の問題もなく、基幹システムの安定的な運用ができています。	特段の問題もなく、基幹システムの安定的な運用ができています。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
1,742	1,279	0	0		
*反映金額の算出方法	統合予定の個別システムで1年間にかかるランニングコストを比較				

(取組を進めるための経費であるため「効果額」に算入しない。)

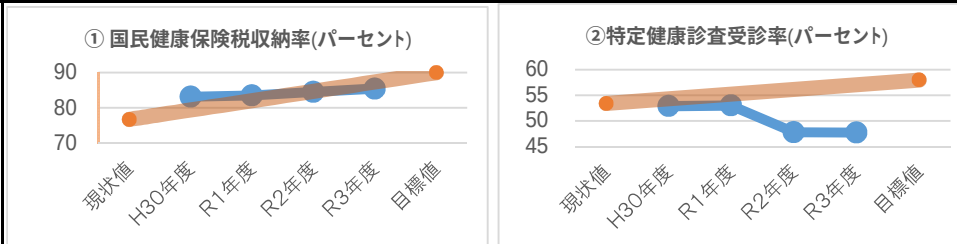
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「インターネットを活用した申請・届出等の拡充」																		
3—8—2—																			
担当課	情報管理課		関係課																
指 標	グラフ																		
インターネットを利用して行うことができる申請や届出、申込み等の数(種類)	インターネットを利用して行うことができる申請や届出、申込み等の数(種類) <table><thead><tr><th>項目</th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>数(種類)</td><td>43</td><td>44</td><td>42</td><td>47</td><td>58</td><td>60</td></tr></tbody></table>					項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	数(種類)	43	44	42	47	58	60
項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
数(種類)	43	44	42	47	58	60													
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
43	44	42	47	58	60														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼各主管課の意向確認	▼継続	▼継続	▼継続	▼継続															
▼最新のシステムや他自治体の取組の情報収集	▼継続	▼継続	▼継続	▼継続															
▼インターネットを利用して行うことができる申請や届出、申込み等の拡充	▼継続	▼継続	▼継続	▼継続															
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる															
実績	実績	実績	実績	実績															
・電子申請サービスに関する全庁的な説明会を実施し、他自治体での取組も含めて制度のさらなる周知を行った。 ・電子申請サービスを利用した手続を増やすことができた。	・個別に働きかけを行い、電子申請サービスを利用した手続を一つ増やすことができた。	・個別に働きかけを行い、電子申請サービスを利用した手続を14種類増やすことができた。	・個別に働きかけを行い、電子申請サービスを利用した手続を10種類増やすことができた。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】															
B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	B 計画通りに進んだ															
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)															
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成															
実績	実績	実績	実績	実績															
・電子申請サービスに関する全庁的な説明会を実施するなど、制度の周知を行った結果、電子申請サービスを利用した手続を増やすことができた。なお、平成28年度には実施したものの、その後実施しなくなった手続もあったため、全体では微増という結果になった。	・電子申請サービスに関して、個別に各課に働きかけを行ったり、全庁的に通知を出して、制度の周知を行った結果、電子申請サービスを利用した新たな手続を開始することができた。なお、電子申請において、今年度実施しなくなった手続もあったため、全体では微減という結果になった。	・電子申請サービスに関して、個別に各課に働きかけを行なった結果、電子申請サービスを利用した新たな手続を開始することができた。なお、電子申請においては、今年度実施しなくなった手続もあったため、目標値には届かなかった。	・電子申請サービスに関して、個別に各課に働きかけを行うことや、新型コロナウイルス感染症拡大の影響による手続きのオンライン化も見られましたが目標値には届かなかった。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)															
0	0	0	0	0															
*反映金額の算出方法																			

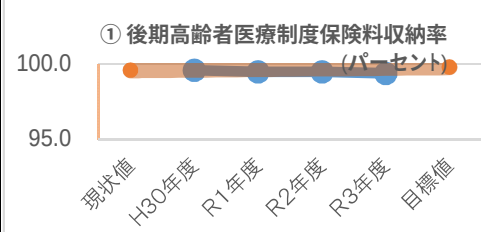
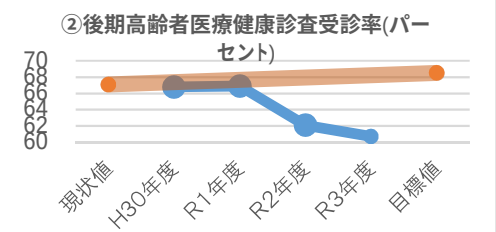
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市の財政状況の定期的な提供」																
4—9—1—																	
担当課	財政課		関係課														
指 標	グラフ																
ホームページ上の財政関連ページのアクセス件数(件)	ホームページ上の財政関連ページのアクセス件数(件) <table><tr><td>現況値</td><td>H30年度</td><td>R1年度</td><td>R2年度</td><td>R3年度</td><td>目標値</td></tr><tr><td>24,328</td><td>29,229</td><td>37,800</td><td>52,233</td><td>77,553</td><td>35,000</td></tr></table>					現況値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	24,328	29,229	37,800	52,233	77,553	35,000
現況値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
24,328	29,229	37,800	52,233	77,553	35,000												
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
24,328	29,229	37,800	52,233	77,553	35,000												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼財政の概要の公表	▼継続	▼継続	▼継続														
▼施策の成果の公表	▼継続	▼継続	▼継続														
▼財務諸表の公表	▼継続	▼継続	▼継続														
▼予算のあらましの公表	▼継続	▼継続	▼継続														
▼掲載内容の精査	▼資料の整理・統合																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる														
実績	実績	実績	実績														
・適切な時期に資料を公表した。 ・掲載内容の精査について、他市状況や庁内の類似した公表資料等を把握し、準備を進めた。	・適切な時期に資料を公表した。 ・各資料の公表する目的を整理し、ニーズに合わせた資料を提供できるよう、ホームページにて目的別で資料を紹介する財政関係資料ガイドを作成した。	・適切な時期に資料を公表した。 ・庁内の類似した公表資料等について、関係課と今後の方針についての検討を行った。	・適切な時期に資料を公表した。 ・庁内の類似した公表資料等について、検討を行った。														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)														
B 目標達成	B 目標達成	B 目標達成	B 目標達成														
実績	実績	実績	実績														
・適切な時期に資料を公表した。 ・掲載内容の精査について、他市状況や庁内の類似した公表資料等を把握するとともに、法定事項であるかどうかなど種類を分類した。	・適切な時期に資料を公表した。 ・ホームページに財政関係資料ガイドを掲載したところ、財政関連ページのアクセス件数が増加した。	・適切な時期に資料を公表した。 ・庁内の類似した公表資料等について、関係課と今後の方針についての検討を行った。財務会計システムの更改と併せて検討する必要があるため、引き続き検討を行う。	・適切な時期に資料を公表した。 ・庁内の類似した公表資料等について、検討を行った。														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
0	0	0	0														
* 反映金額の算出方法																	

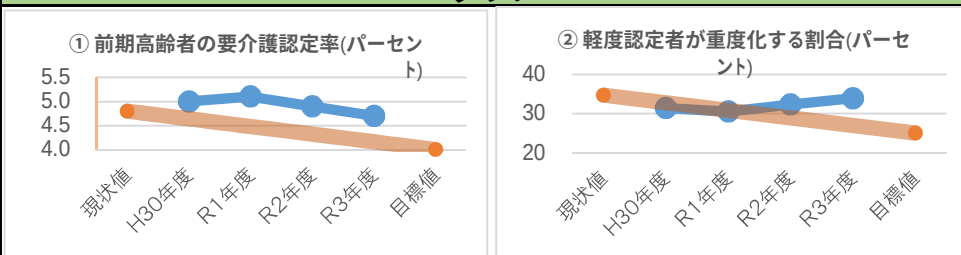
行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—9—2—①		プラン名「特別会計等の健全な運営」				
担当課		個別プラン名「国民健康保険特別会計」				
指標		グラフ				
① 国民健康保険税収納率(パーセント) ② 特定健康診査受診率(パーセント)						
現状値(平成28年度)		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
76.8		83.2	83.6	84.6	85.5	90.0
53.4		52.9	53.0	47.8	47.7	58.0
スケジュール						
平成30年度(2018年度)		令和元年度(2019年度)		令和2年度(2020年度)		令和3年度(2021年度)
▼現年課税分の徴収強化 ▼滞納繰越分の徴収強化・圧縮 ▼納付環境の整備 ▼特定健康診査及び特定保健指導の受診率・実施率向上の取組 ▼各保健事業の実施・評価・見直し		▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続		▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続		▼継続 ▼継続 ▼収納率向上基本計画策定 ▼継続 ▼継続
(上半期評価)		(上半期評価)		(上半期評価)		(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる
実績		実績		実績		実績
・現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっている。 ・収納方法について、研究・検討を進めている。 ・医療費の適正化のため糖尿病性腎症重症化予防事業、ジェネリック医薬品利用差額事業等の保健事業を実施した。		・現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっている。 ・収納方法について、研究・検討を進めている。 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施するとともに、被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業を実施した。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、滞納処分を見送ったため、例年より徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっていない。 ・収納方法については、令和2年4月からページー収納窓口口座振替受付サービスが予定どおり稼働ができた。 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響でスケジュールに変更等はあったものの、被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業を実施した。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、前年並みではあるが、例年より徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっていない。 ・新たな収納方法について、eLTAX共通納税システムの税目拡大に向けて検討を進めている。 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施するとともに、新型コロナウイルス感染症の影響でスケジュールに変更等はあったものの、被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査を行った。また、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業も実施した。
【年間評価】		【年間評価】		【年間評価】		【最終評価】
B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んだ
指標評価		指標評価		指標評価		指標評価(最終)
C 目標未達成		C 目標未達成		C 目標未達成		C 目標未達成
実績		実績		実績		実績
・年間通じて現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・収納方法について、収納環境の具体的な研究・検討を進めている。 ・健康への意識付けのため若年層へアプローチし、受診率向上を図った。 ・ジェネリック医薬品利用差額通知を送付し、普及率の向上につながった。		・年間通じて現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・収納方法について、収納環境の具体的な研究・検討を進めている。 ・令和2年度からページー収納窓口口座振替受付サービス稼働予定 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施した。 ・被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業を実施した。 ・健康への意識付けのため対象初年度となる40歳へ受診勧奨を行い、受診率向上を図った。		・新型コロナウイルス感染症の影響により、滞納処分を見送ったため、例年より徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっていない。 ・収納方法については、令和2年4月からページー収納窓口口座振替受付サービスは予定どおりの稼働ができた。 ・新たな収納環境の具体的な研究・検討を進めている。 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施した。 ・被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業を実施した。 ・健康への意識付けのため対象初年度となる40歳へ受診勧奨を行い、受診率向上を図った。		・新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、計画期間を通して現年課税滞納事案に早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・計画期間を令和4年度から4年間とした収納率向上計画を策定した。 ・クレジット収納等の新たな収納方法については、eLTAX共通納税システムにおけるキャッシュレス決済対応に向けて準備を進めている。 ・医療費の適正化のためジェネリック医薬品利用差額事業等を実施した。 ・被保険者の健康保持・増進のため特定健康診査、糖尿病性腎症重症化予防事業等の保健事業を実施した。 ・FC東京との協働事業として、特定健康診査等の受診勧奨動画を作成するなど、受診率向上にむけた取り組みを行った。
翌年度予算への反映(千円)		翌年度予算への反映(千円)		翌年度予算への反映(千円)		翌年度予算への反映(千円)
0		0		0		0
*反映金額の算出方法						

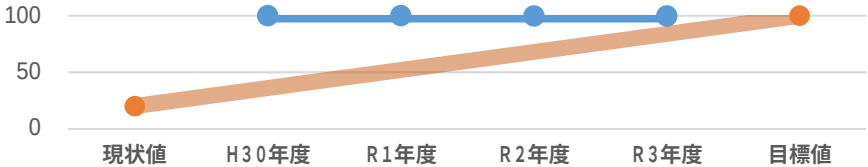
行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—9—2—②	プラン名「特別会計等の健全な運営」				
担当課	個別プラン名「後期高齢者医療特別会計」				
	保険年金課		関係課		
指 標	グラフ				
① 後期高齢者医療制度保険料収 納率(パーセント) ② 後期高齢者医療健康診査受診 率(パーセント)	① 後期高齢者医療制度保険料収納率(パーセント)  ② 後期高齢者医療健康診査受診率(パーセント) 				
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
99.6	99.6	99.5	99.5	99.4	99.8
67.1	66.8	66.9	62.1	60.7	68.5
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼電話催告等による収納率向上の 取組実施 ▼後期高齢者医療健康診査の実施 ▼ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組実施	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・緊急事態宣言下において、一時 中断したが、後期高齢者医療健康 診査を実施した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標未達成	C 目標未達成	C 目標未達成	C 目標未達成		
実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組を 実施した(新型コロナウイルス感染症 の影響により、臨戸訪問は実施して いない)。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。	実績 ・電話催告等、収納率向上の取組 を実施した(新型コロナウイルス感 染症の影響により、臨戸訪問は 実施していない)。 ・後期高齢者医療健康診査を実施 した。 ・ジェネリック医薬品差額通知等 による医療費抑制の取組を実施し た。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	0	0	0		
* 反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—9—2—③		プラン名「特別会計等の健全な運営」			
担当課		個別プラン名「介護保険特別会計」			
指標		グラフ			
① 前期高齢者の要介護認定率(パーセント) ② 軽度認定者が重度化する割合(パーセント)					
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
4.8	5.0	5.1	4.9	4.7	4.0
34.7	31.4	30.5	32.3	33.9	25.0
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼臨戸徴収等による介護保険料収納率向上の取組 ▼介護給付適正化計画に基づく給付適正化の取組 ▼介護予防推進センターや地域包括支援センターを中心とした介護予防の取組	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼介護保険料改定に伴う収納取組の見直し ▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績 ・催告書の郵送や、分納相談に応じるなど収納率向上の取組を実施 ・サービスの縦覧点検や、住宅改修に関する研修、ケアプラン点検の体制整備などを実施 ・介護予防推進センターなどで、介護予防事業を実施	実績 ・催告書の郵送や、分納相談に応じるなど収納率向上の取組を実施 ・サービスの縦覧点検や、住宅改修に関する研修、ケアプラン点検の効果的な実施に向けた勉強会の開催など準備を行った。 ・介護予防推進センターなどで、介護予防事業を実施	実績 ・催告書の郵送や、分納相談に応じるなど収納率向上の取組を実施 ・サービスの縦覧点検や、住宅改修に関する研修、ケアプラン点検の効果的な実施に向けた検討など準備を行った。 ・新型コロナウイルス感染拡大防止のため見合わせていた介護予防推進センターなどでの介護予防事業の実施を、緊急事態宣言解除後、再開した。	実績 ・催告書の郵送や、分納相談に応じるなど収納率向上の取組を実施 ・サービスの縦覧点検や、住宅改修に関する研修(新型コロナウイルス感染症の影響で説明書送付にて代替)、を行った。また住宅改修に係る審査において作業療法士を雇用し、専門的な見地により審査を実施した。 ・ケアプラン点検の効果的な実施に向けた検討(近隣市の情報収集等)準備を行った。 ・介護予防センターなどで、介護予防事業を実施		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成		
実績 ・コンビニ収納や口座振替など多様な納入環境を引き続き整えるとともに、臨戸徴収を実施して、収納率の向上に努めた。 ・縦覧点検などこれまでの取組みを継続するとともに、新たにケアプラン点検を実施した。 ・介護予防センターなどで、介護予防事業を実施	実績 ・コンビニ収納や口座振替など多様な納入環境を引き続き整えるとともに、臨戸徴収を実施して、収納率の向上に努めた。 ・縦覧点検などこれまでの取組みを継続するとともに、ケアプラン点検は件数を増やして実施した。 ・介護予防センターなどで、介護予防事業を実施	実績 ・コンビニ収納や口座振替など多様な納入環境を引き続き整えるとともに、臨戸徴収を実施して、収納率の向上に努めた。 ・縦覧点検などこれまでの取組みを継続した。なお、ケアプラン点検は、準備も含めてケアマネとの面談が長時間にわたり必要なことから、コロナ禍での実施は困難と判断したため、実績は0件となった。 ・介護予防センターなどで、介護予防事業を実施	実績 ・コンビニ収納や口座振替など多様な納入環境を引き続き整えるとともに、未納者に送付する文書について内容等の見直しを行い、更なる収納率の向上に努めた。 ・ケアプラン点検について、近隣市の情報収集と関係者からの意見を踏まえながら、点検実施した。 ・介護予防センターなどで、介護予防事業を実施 ・縦覧点検などこれまでの取組みを継続した。また、作業療法士による住宅改修審査を実施し、給付適正化に取り組めた。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	0	0	0		
* 反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「特別会計等の健全な運営」																
4—9—2—④	個別プラン名「下水道事業特別会計」																
担当課	下水道課	関係課	情報管理課														
指 標	グラフ																
公営企業会計への移行準備における固定資産台帳の作成率(パーセント)	公営企業会計への移行準備における固定資産台帳の作成率(パーセント)  <table><thead><tr><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr></thead><tbody><tr><td>20</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td><td>100</td></tr></tbody></table>					現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	20	100	100	100	100	100
現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値												
20	100	100	100	100	100												
現状値(平成28年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)												
20	100	100	100	100	100												
スケジュール																	
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)														
▼財政計画(平成32～33年度)の策定準備	▼財政計画(平成32～33年度)の策定	▼財政計画(平成34～35年度)の策定準備	▼財政計画(平成34～35年度)の策定														
▼公営企業会計の導入準備 ・固定資産評価 ・会計システムの構築	▼公営企業会計の導入準備 ・関係課との調整 ・会計システムの構築	▼公営企業会計による運用開始	▼継続														
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	A 完了(目標を達成)														
実績	実績	実績	実績														
・財政計画の策定準備のため、平成29年度の決算について状況分析を行った。 ・公営企業会計の導入準備のため、固定資産評価において委託契約を締結した。また、会計システムの構築において請負業者を選定し、委託契約を締結するとともに、システムの運用等について、関係各課との打合せを開始した。	・財政計画の策定準備のため、平成30年度の決算について状況分析を行った。 ・公営企業会計の導入準備のため、条例の制定などの例規の整備や出納・給与等の事務について、関係課との調整を進めている。 また、会計システムの構築において、システムの納品、入力データの洗い出し・設定などを行った。	・経営戦略の策定に向けて今後の財政状況に基づく収支計画等について分析を行った。 ・公営企業会計へ移行し、「府中市下水道事業の会計事務等に関する規則」に基づく企業会計事務の運用を開始するとともに、令和元年度特別会計の打ち切り決算に伴う特例的未収金や未払金の事務処理と金額の確定を行い、第3回市議会において特例的収入及び支出の補正を行った。	・本市の下水道事業においては、固定資産台帳を作成する等、公営企業会計への移行準備期間を経て、令和2年度には移行が完了し、又、経営戦略を策定し、当初の目標を達成した。 ・令和2年度府中市下水道事業決算においては、決算の認定とともに利益剰余金の処分について議決された。														
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】														
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	A 完了(目標を達成)														
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)														
B 目標値達成	B 目標値達成	B 目標値達成	A 目標以上														
実績	実績	実績	実績														
・財政計画の策定準備のため、平成30年度予算の執行状況について分析を行った。 ・公営企業会計の導入準備のため、固定資産評価において固定資産の調査及び評価を実施し、固定資産台帳の作成を完了した。また、会計システムの構築においてシステムの運用方法等について関係各課と協議を進めるとともに、帳票類の様式や勘定科目の設定等について検討した。	・公営企業会計への移行に伴い、財政計画に代わる経営戦略(計画期間10年、令和2～11年度)の策定準備のため、今後の収支計画等について分析を行った。 ・公営企業会計の導入準備のため、「府中市下水道事業の設置等に関する条例」の制定や下水道事業の会計事務等に関する規則などの例規の整備、出納・監査・給与・財産管理などの事務について、関係課と調整を行った。また、会計システムの構築を行い、公営企業会計方式による令和2年度予算を作成した。	・今後の財政状況に基づく収支計画等について分析を行い、経営戦略(計画期間10年)を策定した。 ・令和2年度における業務の予定量の補正に伴い、「令和2年度府中市下水道事業会計補正予算(第2号)」において収益的収入及び支出と資本的収入及び支出の補正を行うとともに、令和3年度予算を作成した。	・業務状況説明書類を公表し、下水道事業経営の健全性を示した。 ・決算値をもとに、総務省が提示した地方公営企業経営指標(経常収支比率等)等と比較分析を行った。 ・令和2年度府中市下水道事業決算に関して処分議決された利益剰余金について、下水道施設改築基金へ積立てるため「令和3年度府中市下水道事業会計補正予算(第1号)」において積立額の増額補正を行うとともに、令和4年度予算を作成した。														
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)														
0	0	0	0														
*反映金額の算出方法																	

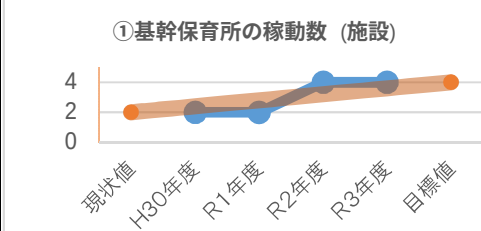
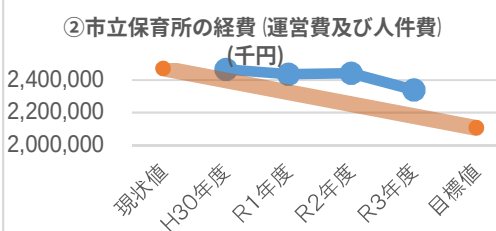
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名 「特別会計等の健全な運営」				
4—9—2—⑤	個別プラン名 「競走事業会計」				
担当課	事業部	関係課			
指 標	グラフ				
他会計への繰出金(億円)					
現状値 (H27～29の平均)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
4.7	23.0	27.0	35.0	40.0	5.0
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼高グレードレースの誘致、女子戦や魅力的な企画レース開催等の売上向上策の実施 ▼効果的なPR、人気の高いイベントやファンサービスの実施 ▼財務状況の的確な把握と業績分析に基づく収益性の高い効率的な運営の実施	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・売上については、電話投票を中心に順調に伸びている。なお、次年度はSGポートレースクラシック（総理大臣杯）競走の誘致に成功した。 ・グレードレースやGW、お盆期間等のレース、一般戦の土日祝日において重点的にイベント・ファンサービスを実施し、好評を博した。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施している。	・売上については、電話投票を中心に順調に伸びている。なお、次年度はSGグランプリ（賞金王決定戦競走）の誘致に成功した。 ・グレードレースやGW、お盆期間等のレース、一般戦の土日祝日において重点的にイベント・ファンサービスを実施し、好評を博した。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施している。	・売上については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、電話投票を中心に昨年並みで推移している。なお、次年度はSGポートレースダービー（全日本選手権競走）の誘致に成功した。 ・同感染拡大防止の観点から、誘客に繋がるイベント・ファンサービスは自粛し、WEBを中心とした情報発信に重点を置いている。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施している。	・売上については、新型コロナウイルス感染症の影響もあるが、電話投票を中心に昨年並みで推移している。なお、次年度はSGクラシック（総理大臣杯）の誘致に成功した。 ・同感染拡大防止の観点から、誘客に繋がるイベント・ファンサービスは自粛し、WEBを中心とした情報発信に重点を置いている。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施している。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）		
A 目標値以上	A 目標値以上	A 目標値以上	A 目標以上		
実績	実績	実績	実績		
・売上については、電話投票及び場間場外発売を中心に順調に伸び、他会計への繰出金の目標額である最低5億円を達成することができた。 ・次年度はSGポートレースクラシック（総理大臣杯）競走、PGIポートレースバトルチャンピオントーナメントの誘致に成功した。 ・新規来場者促進の取組として、子ども向けのイベントの通年実施や場内にコンシェルジュを配置する等新たなイベント・ファンサービスを実施した。	・売上については、電話投票を中心に順調に伸び、他会計への繰出金の目標額である最低5億円を達成することができた。 ・次年度はSGグランプリ（賞金王決定戦競走）の誘致に成功した。 ・既存のイベント・ファンサービスのほか、アイドルグループ（SKE48）とのコラボレーションの実施や、ファミリー向けイベントを充実させ、本場への来場促進を図った。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施した。	・売上については、電話投票を中心に順調に伸び、他会計への繰出金の目標額である最低5億円を達成することができた。 ・次年度はSGポートレースダービー（全日本選手権競走）の誘致に成功した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集客イベントは見送り、アイドルグループ（SKE48）等を起用したWEB動画の配信によるPRを実施した。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施した。	・売上については、電話投票を中心に順調に伸び、他会計への繰出金の目標額である最低5億円を達成することができた。 ・次年度はSGポートレースクラシック（総理大臣杯）の誘致に成功した。 ・新型コロナウイルス感染症拡大防止の観点から、集客イベントは見送り、WEB動画の配信によるPRを実施した。 ・売上実績に基づく経営分析を継続して実施した。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
1,000,000	1,800,000	2,600,000	3,400,000		
*反映金額の算出方法	予算上の繰出金額				

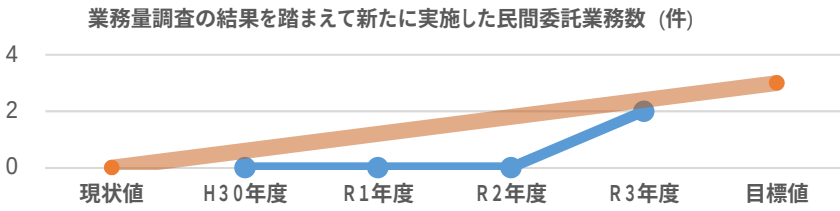
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名 「事務事業への民間活力の導入」				
4—10—1—①	個別プラン名 「総合窓口業務の民間委託の拡大」				
担当課	総合窓口課	関係課			
指 標	グラフ				
委託業務数(業務)					
現状値(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
7	8	8	8	8	9
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼証明書の郵送請求事務や納税証明書交付事務など委託範囲の拡大及び委託業務時間の変更の実施	▼窓口事務の効率化の検討及び民間委託化の推進	▼継続	▼継続		
			▼個人番号カードに格納された電子証明書の更新手続き(5年ごとの更新)の繁忙に伴う委託事務の拡大		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・前年度から準備し平成30年度予算で計上していた委託の拡大(証明書の郵送請求事務や納税証明書交付事務など委託範囲の拡大及び委託業務時間の変更)を4月から予定通り実施した。 ・現在は運用の安定化に努めている。	・令和2年度の労働者派遣法の改正による人件費の上昇に伴い、現行業務部分について窓口業務委託の委託料の上昇が見込まれているため、予算措置の準備を行っている。 ・また、公金収納業務及び国民健康保険受付業務の委託拡大を検討し、次契約時にプロポーザルによる事業者選定を行うよう前項と合わせて政策会議に提案を行った。	・窓口事務に関して、さらなる効率化と市民の利便性拡大について、検証を行った。 ・個人番号カードの交付後5年経過に伴い発生する電子証明書の更新手続きについて、繁忙に備え委託の仕様を見直し対応を図った。	・証明窓口事務については、レジシステムの変更、申請書の見直しと併せて7月から委託業務を拡充し、受付から交付に至るフローを効率化した。 ・個人番号カード交付事務については、7月から受付業務委託を拡充するとともに、事前予約制の導入と併せて電話受付業務を追加し、交付窓口の円滑化、混雑緩和を図った。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成		
実績	実績	実績	実績		
・委託の拡大(証明書の郵送請求事務や納税証明書交付事務など委託範囲の拡大及び委託業務時間の変更)を4月から実施し、運用の安定化に努めた。 ・また、委託料における次年度予算には、最低賃金の上昇分や有給休暇の発生に伴う人員不足の調整や見直しなどの運用安定のための費用を計上した。	・労働者派遣法の改正により窓口業務委託の委託料の上昇が見込まれることから、複数事業者から見積りを取り、現行仕様で想定される委託料の予算計上を行った。 ・また、委託拡大を検討し、政策会議に提案を行ったが、財政課との査定の中で、委託化の人件費との費用対効果が低いとの指摘を受け、効果的な事務運用を分析した上で、仕様を作成し検討していくため、委託拡大は見送ることとなった。	・マイナンバーカードの交付窓口や証明受付窓口等の効率化のため、レイアウト変更を実施し、フロアの動線の整理と必要なスペースの確保を行った。 ・委託業務数については、計画策定時に国保・年金等の受付業務を検討していたものの受付時に主管課への確認のための連絡が度々発生することから、委託には馴染まないものとして見送っており、現行の8つの委託業務に関しては一定の効果があったとして評価しているため、今後は現行の委託業務の安定運用とさらなる効率化のために検討していくこととした。	・業務処理の効率化を最優先に委託内容を見直し、令和4年度については、直接指示を行うことが適切なマイナンバーカード業務については、会計年度任用職員による運用に切り替え、委託することが適切な場内整理、電話対応業務、マイナンバーカードの出張申請補助等については拡充、追加することとし、令和3年度については、マイナンバーカード交付会場の移設に伴い、契約内容を一部変更し、先行して業務内容の見直しを行った。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
9,962	34,341	45,952	△10,303		
*反映金額の算出方法	債務負担行為を含めた令和元年度委託料の合計金額から当該年度予算の委託料の合計金額を引いた。 (取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)				

行革プラン進行管理シート

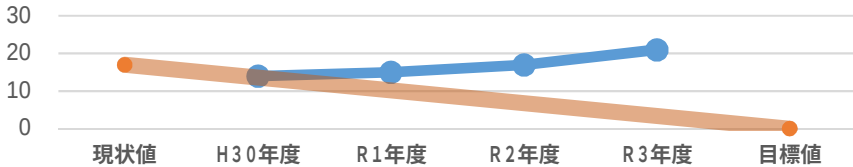
プラン番号	プラン名「事務事業への民間活力の導入」				
4—10—1—②	個別プラン名「市立保育所の民間活力活用の計画的な遂行」				
担当課	保育支援課		関係課	財産活用課	
指 標	グラフ				
①基幹保育所の稼働数（施設）					
②市立保育所の経費（運営費及び人件費）（千円）					
※基幹保育所：福祉計画に定める6つの福祉エリアに基づき選定した、地域における子育て支援拠点機能を備える6か所の保育所					
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
2	2	2	4	4	4
2,472,265	2,466,959	2,436,329	2,442,854	2,340,190	2,106,703
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)		令和2年度(2020年度)		令和3年度(2021年度)
▼南保育所の民設民営化 ▼直接移管方式の検証・評価 ▼残る5保育所における民間活力の活用に向けた取組の検討、実施	▼継続		▼東保育所と朝日保育所の統合及び朝日保育所の廃止 ▼定員枠調整方式の検証・評価 ▼継続		▼西保育所と美好保育所の統合及び美好保育所の休止 ▼定員枠調整方式の検証・評価 ▼継続
(上半期評価)	(上半期評価)		(上半期評価)		(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる
実績 ・南保育所の民設民営化完了 ・民営化後の運営について、市立保育所の施設長経験者及び前任職員による確認・点検の実施	実績 ・基幹保育所稼働に向けた機能強化の工事実施 ・小柳保育所の移転・建替及び八幡保育所の廃止・統合計画の決定・公表		実績 ・基幹保育所2か所（東保育所、住吉保育所）の稼働 ・東保育所と朝日保育所の統合及び朝日保育所の廃止		実績 ・本町保育所の移転・建替計画の決定・公表 ・西保育所と美好保育所の統合及び美好保育所の休止
【年間評価】	【年間評価】		【年間評価】		【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んでいる		B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価		指標評価		指標評価（最終）
C 目標値未達成	C 目標値未達成		C 目標値未達成		C 目標未達成
実績 ・民営化後の運営について、市立保育所の施設長経験者及び前任職員による確認・点検の実施 ・民営化事業及び民営化後の運営について、移管先法人及び施設利用者（保護者）にアンケート実施 ・基幹保育所稼働に向けた機能強化の工事実施	実績 ・基幹保育所稼働に向けた機能強化の工事実施及び運営準備 ・東保育所と朝日保育所統合に向けた準備		実績 ・美好保育所の改修に向けて実施設計を行った。 ・西保育所と美好保育所の統合に向けた準備を行った。 ・本町保育所及び小柳保育所の基幹保育所整備に向けた検討を関係課と進めた。		実績 ・美好保育所の改修を行った。 ・西府保育所の美好保育所への移転に向けた準備を行った。 ・小柳保育所の基本設計を実施した。 ・本町保育所の基幹保育所整備に向けた検討を関係課と進めた。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		翌年度予算への反映(千円)		翌年度予算への反映(千円)
0	-24,682		-54,407		0
* 反映金額の算出方法	美好保育所廃止に伴う運営費の減額分				

行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—10—1—③	プラン名「事務事業への民間活力の導入」				
担当課	個別プラン名「業務量調査に基づく業務量削減及び民間委託業務の拡充」				
	政策課	関係課	職員課		
指 標	グラフ				
業務量調査の結果を踏まえて新たに実施した民間委託業務数（件）					
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
0	0	0	0	2	3
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼業務量調査手法の検討	▼説明会の実施 ▼業務量調査の試行的実施（担当課を限定して実施） ▼ヒアリングの実施	▼業務量調査の試行実施の結果を踏まえた検証	▼業務量調査の本格実施 ▼業務量調査結果に基づいた業務量削減、民間委託の拡大及び役割分担の明確化		
（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）	（上半期評価）		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績 ・既に業務量調査等の取組を行っている先進自治体を視察し、本市における業務量調査の実施方法の検討を行った。	実績 業務量調査を試行的に実施する課を決定し、対象課に対して、働き方改革・業務改革に取組むにあたっての研修会を開催するとともに、実務担当者向けに、業務スケジュール等の説明会を実施した。	実績 ・次年度における予算化を視野に、業務量調査の結果を参考として、民間委託業務の拡充等に向けた検討を進めた。	実績 ・総合窓口課で導入したＡＩチャットボットと介護保険課の介護認定業務委託の進捗状況を確認するとともに、民間委託業務の拡充等に向けた検討を行った。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成		
実績 ・多摩地域の自治体へ業務量調査に関するアンケート調査を実施するなど、業務量調査の実施方法の検討を進めた。 ・また、総務省が令和元年度から実施する「自治体行政スマートプロジェクト事業」へ参画するかについても検討を行った。	実績 ・各課の課長職を対象に、働き方改革・業務改革の視点に基づいた研修を実施した。 ・調査マニュアル等を整備した上で、対象課（総合窓口課、市民税課、介護保険課）において業務量調査を実施し、結果についての報告会を開催した。	実績 ・業務量調査の結果を参考として、令和3年度において総合窓口におけるＡＩチャットボットの導入と介護認定審査事務の一部業務委託化を行うための予算措置を進めた。	実績 介護保険課で、介護認定業務に必要なタブレットを導入し、認定審査業務の一部委託化を開始した。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
12,188	0	0	0		
* 反映金額の算出方法	業務量調査支援委託料				

(取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)

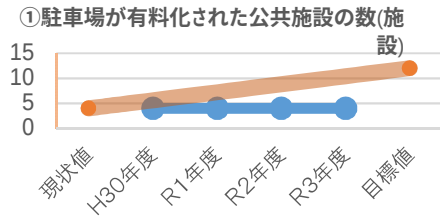
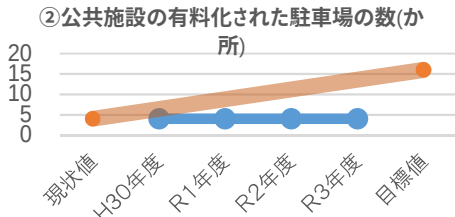
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「受益者負担・公私負担の見直し」																		
4—10—2—①	個別プラン名「公共施設の使用料の適正化」																		
担当課	政策課		関係課																
指 標	グラフ																		
現行使用料と基準使用料とのかい離がある施設数（施設）	現行使用料と基準使用料とのかい離がある施設数（施設）  <table><thead><tr><th>年度</th><th>施設数</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値</td><td>17</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>14</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>15</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>17</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>21</td></tr><tr><td>目標値</td><td>0</td></tr></tbody></table>					年度	施設数	現状値	17	H30年度	14	R1年度	15	R2年度	17	R3年度	21	目標値	0
年度	施設数																		
現状値	17																		
H30年度	14																		
R1年度	15																		
R2年度	17																		
R3年度	21																		
目標値	0																		
※かい離（比較0.75以下、1.5以上）																			
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
17	14	15	17	21	0														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼基本方針に基づいた使用料及び減免基準の見直し（平成31年1月施行） ▼新基本方針の策定	▼新基本方針に基づいた使用料の見直し	▼継続	▼継続																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績 ・平成30年第1回市議会定例会で使用料及び減免基準の見直しを行った。（平成31年1月使用分から施行） ・また、平成26年5月に策定した「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」については4年毎に検証を行い、必要に応じて改定を行うこととしていることから、検証を行った。	実績 ・令和元年5月に「手数料・使用料の見直しに関する基本方針（改定）」及び「公の施設における駐車施設の有料化の考え方」を策定した。	実績 「手数料・使用料の見直しに関する基本方針（改定）」に基づき、基準使用料の算出を進めた。	実績 「手数料・使用料の見直しに関する基本方針（改定）」に基づき、基準使用料の算出を進めた。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進まなかった																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成																
実績 ・「手数料・使用料の見直しに関する基本方針」について、駐車施設の使用料の考え方や手数料・使用料の見直しに係る検証時期を追加し、基本方針の改定案を作成した。	実績 ・基準使用料の算出を行うとともに、令和2年度以降の見直しに向けて検討を行った。	実績 「手数料・使用料の見直しに関する基本方針（改定）」に基づき、基準使用料の算出を行った。	実績 ・基準使用料の算出を行ったが、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い、利用可能時間・人数に制限が設けられた施設が多数あり、そういった施設については、適正な基準使用料の算出ができなかった。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
28,000	0	0	0																
* 反映金額の算出方法																			

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「受益者負担・公私負担の見直し」																		
4—10—2—②	個別プラン名「教育に係る経費の公私負担の見直し」																		
担当課	教育総務課	関係課	学務保健課、指導室																
指 標	グラフ																		
教科用消耗器材費のうち教科用消耗品予算額 (千円)	教科用消耗器材費のうち教科用消耗品予算額 (千円) <table><tr><th>年度</th><th>予算額 (千円)</th></tr><tr><td>現状値</td><td>137,713</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>127,327</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>117,149</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>105,926</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>107,649</td></tr><tr><td>目標値</td><td>105,992</td></tr></table>					年度	予算額 (千円)	現状値	137,713	H30年度	127,327	R1年度	117,149	R2年度	105,926	R3年度	107,649	目標値	105,992
年度	予算額 (千円)																		
現状値	137,713																		
H30年度	127,327																		
R1年度	117,149																		
R2年度	105,926																		
R3年度	107,649																		
目標値	105,992																		
現状値(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
137,713	127,327	117,149	105,926	107,649	105,992														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり60%削減	▼ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり80%削減	▼ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり100%削減(公費負担無し)	▼(見直し完了済み)																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	A 完了(目標を達成)																
実績	実績	実績	実績																
・計画どおり、ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり60%削減した。	・計画どおり、ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり80%削減した。	・計画どおり、ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり100%削減した。	・計画どおり、ドリル・ワーク購入費を平成25年度(基準年度)比較で1人当たり100%削減した。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	B 目標値達成	B 目標達成																
実績	実績	実績	実績																
・上半期同様、平成25年度(基準年度)比較で1人当たり60%削減した中で、効果的にドリルワーク購入を実施した。	・上半期同様、平成25年度(基準年度)比較で1人当たり80%削減した中で、効果的にドリルワーク購入を実施した。	・上半期同様、平成25年度(基準年度)比較で1人当たり100%削減した中で、効果的に教科用消耗品の購入を実施した。	▼(見直し完了済み) ドリル・ワーク購入費削減については計画どおりに進んだが、児童生徒数の増により令和2年度に比べ教科用消耗品の予算額が増えた。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
-20,564	-31,777	-30,063	-29,892																
*反映金額の算出方法	翌年度予算と現状値(平成29年度)の差額																		

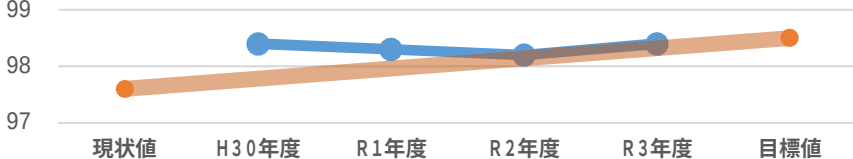
行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「受益者負担・公私負担の見直し」				
4—10—2—③	個別プラン名「公共施設の駐車場の有料化」				
担当課	政策課	関係課			
指 標	グラフ				
①駐車場が有料化された公共施設の数(施設)					
②公共施設の有料化された駐車場の数(か所)					
現状値(平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
4	4	4	4	4	12
4	4	4	4	4	16
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼駐車場の有料化に向けた妥当性の検証、整備等の実施					
▼有料駐車場の運用開始	▼継続	▼継続	▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない		
実績	実績	実績	実績		
・平成29年1月に作成した「使用料に係る負担割合」において、無料の駐車場については、当該施設ごとの性質や費用対効果等を考慮し、個々に有料化の検討を行うこととしているため、有料化するか、無料のままとするかについての整理を行った。	・「手数料・使用料の見直しに関する基本方針(改定)」及び「公の施設における駐車施設の有料化の考え方」を策定し、有料化に向けた取組を進めた。	・施設所管部署と連携して、有料化の手法や各施設条例の改正等について課題の整理を行った。	・公共施設の駐車場の有料化における現状や課題の確認を行った。		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価(最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成		
実績	実績	実績	実績		
・手数料・使用料の見直しに関する基本方針(改定案)において駐車施設の使用料の考え方を示したほか、公の施設における駐車施設の有料化の考え方(案)を作成し、有料化の対象施設を定めた。	・有料化の手法や各施設条例の改正等について、施設所管部署に情報提供を行うなど、有料化に向けた取組を進めた。	・社会経済情勢の変化を踏まえ、有料化の手法や各施設条例の改正等に関する検討を行った。	・駐車場法その他関係法令に定める技術的基準に基づき、有料化の手法や費用対効果について検討を行った。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	0	0	0		
*反映金額の算出方法					

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「庁用車のカーシェアリング等の検討」																		
4—10—3																			
担当課	財産活用課	関係課	庁用車を保有する全ての課																
指 標	グラフ																		
庁用車保有台数（台） （ただし、消防団において使用する車両を除く。）	庁用車保有台数（台） <table><tr><th>項目</th><th>現状値</th><th>H30年度</th><th>R1年度</th><th>R2年度</th><th>R3年度</th><th>目標値</th></tr><tr><td>保有台数（台）</td><td>119</td><td>111</td><td>111</td><td>113</td><td>112</td><td>107</td></tr></table>					項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値	保有台数（台）	119	111	111	113	112	107
項目	現状値	H30年度	R1年度	R2年度	R3年度	目標値													
保有台数（台）	119	111	111	113	112	107													
現状値（平成29年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
119	111	111	113	112	107														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼車両の保有及び管理方針の策定及び関係課説明会の開催 ▼本庁事務系職場の専用車両の買替予算計上の停止 ▼レンタカー事業者との提携の検討	▼職場専用車両の財産活用課への移管 ▼第2庁舎への共用車両配備 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼前年までの取組実績に基づく適正な車両保有台数の試算	▼継続 ▼継続 ▼継続 ▼買い替えや売却等を伴う保有台数の適正化の実施																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる																
実績	実績	実績	実績																
・庁用車の一元管理を行うための車両管理システムの導入について検討し、政策会議に提案している。 ・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。	・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。	・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。	・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成																
実績	実績	実績	実績																
・庁用車の一元管理を行うための車両管理システムの導入について政策会議に提案し、一定の評価は得たが、新規事業に充当できる財源の問題で予算計上は見送られている。 ・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。	・庁用車の一元管理を行うための車両管理システムの導入について要求したが、予算計上は見送られている。 ・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。	・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討したが、実施は見送ることとした。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。 ・本庁事務系職場の専用車両が増えた。	・民間のカーシェアリング事業者に対し、ヒアリングを実施し試験導入について検討した。 ・令和4年度から試行的に実施するための必要な予算措置をした。 ・新たな庁用車両の保有・管理方針について検討した。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
0	0	0	253																
* 反映金額の算出方法																			

行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—11—1	プラン名「公平かつ適正な収納事務」																		
担当課	納税課		関係課	情報管理課															
指 標	グラフ																		
市税収納率（現年課税分・滞納繰越分の合計）（パーセント）	市税収納率（現年課税分・滞納繰越分の合計）（パーセント）  <table><thead><tr><th>項目</th><th>値</th></tr></thead><tbody><tr><td>現状値</td><td>97.6</td></tr><tr><td>H30年度</td><td>98.4</td></tr><tr><td>R1年度</td><td>98.3</td></tr><tr><td>R2年度</td><td>98.2</td></tr><tr><td>R3年度</td><td>98.4</td></tr><tr><td>目標値</td><td>98.5</td></tr></tbody></table>					項目	値	現状値	97.6	H30年度	98.4	R1年度	98.3	R2年度	98.2	R3年度	98.4	目標値	98.5
項目	値																		
現状値	97.6																		
H30年度	98.4																		
R1年度	98.3																		
R2年度	98.2																		
R3年度	98.4																		
目標値	98.5																		
現状値（平成28年度）	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)														
97.6	98.4	98.3	98.2	98.4	98.5														
スケジュール																			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)																
▼現年課税分の徴収強化 ▼滞納繰越分の徴収強化・圧縮 ▼クレジット収納等の新たな収納方法に関する研究	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続 ▼4年間の実績に対する評価を踏まえた平成34年度以降の収納率向上基本計画の策定																
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない																
実績 ・現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっている。 ・収納方法について、研究・検討を進めている。	実績 ・現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっている。 ・収納方法について、研究・検討を進めている。	実績 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、滞納処分を見送ったため、例年より徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっていない。 ・収納方法については、令和2年4月からペイジー収納窓口口座振替受付サービスが予定どおりの稼働ができた。	実績 ・新型コロナウイルス感染症の動向を注視しつつ、滞納処分を再開した。 ・新たな収納方法について、eLTAX共通納税システムの対象税目拡大に伴うキャッシュレス決済対応を踏まえ検討を進めている。																
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】																
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	C 計画通りに進んでいない	B 計画通りに進んだ																
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）																
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	B 目標達成																
実績 ・年間通じて現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・収納方法について、収納環境の具体的な研究・検討を進めている。	実績 ・年間通じて現年課税分不履行時早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・収納方法について、収納環境の具体的な研究・検討を更に進めている。 ・令和2年度からペイジー収納窓口口座振替受付サービス稼働予定	実績 ・新型コロナウイルス感染症の影響により、滞納処分を見送ったため、例年より徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながっていない。 ・収納方法については、令和2年4月からペイジー収納窓口口座振替受付サービスは予定どおりの稼働ができた。 ・新たな収納環境の具体的な研究・検討を更に進めている。	実績 ・新型コロナウイルス感染症の影響はあったが、計画期間を通して現年課税滞納事案に早期着手することにより、徴収強化・滞納繰越分の圧縮につながった。 ・計画期間を令和4年度から4年間とした収納率向上計画を策定した。 ・クレジット収納等の新たな収納方法については、eLTAX共通納税システムにおけるキャッシュレス決済対応に向けて準備を進めている。																
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)																
857,217	204,436	-1,838	2,409																
*反映金額の算出方法	令和3年度と令和2年度の市税予算額比較																		

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「市に裁量権のある税率や課税対象、課税区分の見直し」		
4—11—2			
担当課	市民税課	関係課	
指 標			
なし			
スケジュール			
平成30年度	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼税制改正・景気動向・他市状況等の把握及び見直しの検討	▼継続	▼継続	▼継続
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績	実績	実績	実績
・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。 ・新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等が与える法人への影響を見守る必要がある。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。 ・新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等が与える法人への影響を見守る必要がある。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）
なし	なし	なし	なし
実績	実績	実績	実績
・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。 ・新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等が与える法人への影響についても見極める必要がある。	・税制改正や景気の動向、他市の状況等を把握し、課税区分の見直しによる影響を見極めた中で、市の財政状況等と合わせ検討し、継続する。 ・新型コロナウイルス感染症による経済活動の自粛等が与える法人への影響についても見極める必要がある。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
0	0	0	0
*反映金額の算出方法			

行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—11—3—		プラン名「新たな施設へのネーミングライツの導入」					
担当課		政策課		関係課		スポーツ振興課、管理課	
指 標		グラフ					
ネーミングライツ導入施設数（施設）		ネーミングライツ導入施設数（施設） 現状値H30年度R1年度R2年度R3年度目標値					
現状値（平成29年度）		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)	
0		0	0	0	0	3	
スケジュール							
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)				
▼府中の森芸術劇場で愛称の使用開始 ▼新たな公共施設においてネーミングライツ導入の課題整理 ▼課題が整理された施設について、パートナー企業の募集及び選定	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続				
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)				
C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない				
実績	実績	実績	実績				
・府中市男女共同参画センターのネーミングライツパートナー企業の募集を行い、1社の応募があったが条件面が合わず採用には至らなかった。 ・府中の森芸術劇場については、再公募に向け、企業情報の収集に努めた。	・サウンディング型市場調査を経てネーミングライツを導入した実績のある自治体を視察し、事例調査・研究を行った。	・これまでの経過や課題を踏まえ、ネーミングライツパートナーの募集に適切な時期を見定めながら取組を進めることとしている。	・これまでの経過や課題を勘案し、ネーミングライツパートナーの募集に適切な時期を見定めながら取組を進めることとしている。				
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】				
C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進んでいない	C 計画通りに進まなかった				
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）				
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標未達成				
実績	実績	実績	実績				
・ネーミングライツについて、他市の導入状況等を調査した。 ・ネーミングライツ募集の前にサウンディング型市場調査を行い民間企業の意向を事前把握している他市の事例について、その手法を研究した。	・他市の事例等を踏まえ、ネーミングライツの導入の手法に関する課題の確認を行った。	・これまでの経過や課題を踏まえ、ネーミングライツパートナーの募集に適切な時期を見定めながら取組を進めることとしている。	・これまでの経過や課題を勘案し、ネーミングライツパートナーの募集に適切な時期を見定めながら取組を進めることとしている。 ・市民球場等において、ネーミングライツ導入を行ううえでの課題となっていた施設の老朽化等に対応するために必要な改修工事を実施した。				
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)				
0	0	0	0				
* 反映金額の算出方法							

行革プラン進行管理シート

プラン番号	プラン名「寄附を受ける環境の整備」		
4—11—4—			
担当課	政策課	関係課	
指 標	グラフ		
なし			
スケジュール			
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)
▼ふるさと寄附金に係る地域特性を踏まえた返礼品の充実 ▼寄附（クラウドファンディング等の新しい手法を含む。）をしやすい環境の整備に向けたマニュアル・指針等の検討・整備	▼ふるさと寄附金に係る地域特性を踏まえた返礼品の充実 ▼クラウドファンディング等の新たな手法の実施	▼継続 ▼継続	▼継続 ▼継続
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる
実績	実績	実績	実績
・事業者向け説明会を実施し、新たな地域特性を生かした返礼品事業者の募集を行ったほか、府中市を活動拠点としているスポーツチームに関わる返礼品の拡充を検討した。 ・クラウドファンディングに関する研修に参加し情報収集を行った。	・広報を通じて、新たな地域特性を生かした返礼品事業者の募集を行ったほか、体験型の返礼品などの掲載を行った。 ・クラウドファンディングに関する情報収集を行った。	・広報を通じて、返礼品事業者の募集を行ったほか、直接、事業者に声掛けを行うなど、返礼品の充実に努めた。 ・「ラグビーのまち府中」モニメントの設置にかかる費用について、クラウドファンディングを活用することで、約300万円を集めることができた。	・広報を通じて、返礼品事業者の募集を行ったほか、直接、事業者に声掛けを行うなど、返礼品の充実に努めた。 ・広く府中市をPRするため、寄附受付に係るポータルサイトの追加について、調整を行った。
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価（最終）
なし	なし	なし	なし
実績	実績	実績	実績
・市内事業者からの返礼品の提案を受けるなど、返礼品の拡充の検討を行った。また、地場産品の定義を見直しを行い、総務省通知を遵守した返礼品の提供を行った。 ・クラウドファンディングに関する情報収集を行った。引き続き先進自治体の実施状況等を調査・研究していく。	・市内事業者からの返礼品の提案を受けるなど、返礼品の拡充の検討を行った。また、地場産品の定義を見直しを行い、総務省通知を遵守した返礼品の提供を行った。 ・クラウドファンディングに関する情報収集を行った。引き続き先進自治体の実施状況等を調査・研究し、実施に向けた検討を進めていく。	・広報を通じて、返礼品事業者の募集を行ったほか、直接、事業者に声掛けを行うなど、返礼品の充実に努めた。また、新たに「楽天ふるさと納税」のサイトにおいて、府中市の返礼品を展開することとした。 ・「ラグビーのまち府中」モニメントの設置にかかる費用について、クラウドファンディングを活用することで、約300万円を集めることができた。 ・「新型コロナウイルス感染症対策応援寄附金」を設置し、ふるさと納税の制度等を利用することで、当該対策への寄附を広く受け入れることが可能な体制を整えた。	・昨年度同様、広報を通じて返礼品事業者の募集を行ったほか、直接、事業者に声掛けを行うなど、返礼品の充実に努めた。また、新たに「さとふる」のサイトにおいて、府中市の返礼品を展開することとした。 ・「新型コロナウイルス感染症対策応援寄附金」についても昨年度に引き続き受け付け、ふるさと納税の制度等を利用することで、当該対策への寄附を広く受け入れることが可能な体制を整えた。 ・クラウドファンディングに関する情報収集を行った。引き続きプロジェクトの選定方法等について調査・研究し、実施に向けた検討を進めていく。
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)
0	0	0	0
* 反映金額の算出方法			

行革プラン進行管理シート

プラン番号 4—11—5—	プラン名 「タウンページ等を活用した償却資産課税の適正化」				
担当課	資産税課	関係課			
指 標	グラフ				
償却資産申告状況調査実施数 (グループ) (市内にある事業所を各業種別に 分けてリストを作成し、各業種別 に細かく分類したものを類似した 業種で3つまたは4つのグループ に大別する。)	償却資産申告状況調査実施数 (グループ)				
現状値 (平成29年度)	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	目標値(令和3年度)
0	0	0	1	2	2
スケジュール					
平成30年度(2018年度)	令和元年度(2019年度)	令和2年度(2020年度)	令和3年度(2021年度)		
▼既にタウンページによる未申告者把握を実施している生駒市や、その他、償却資産への課税に対する先進的取組をしている他の自治体へヒアリング等に基づく調査方法の検討	▼事業所抽出リストの作成及び精査 ▼リストに基づく業種別のグループ分類 (3～4グループ)	▼リストの修正及び精査 ▼7月頃を目途に第1グループへ申告書を送付 ▼申告が得られない場合の対応 (3回程度手紙を送付して申告を促す。)	▼継続 ▼7月頃を目途に第2グループへ申告書を送付 ▼継続		
(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)	(上半期評価)		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる		
実績	実績	実績	実績		
・先進市(生駒市)への視察を実施 ・近隣市へのヒアリング実施	・事業所抽出リストの作成及び精査 ・来年度予算計上のため、タウンページデータベース取得に係る見積りを業者へ依頼	・タウンページデータベースを取得し、第1グループへ申告書を送付	・タウンページデータベースを取得し、第2グループへ申告書を送付		
【年間評価】	【年間評価】	【年間評価】	【最終評価】		
B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んでいる	B 計画通りに進んだ		
指標評価	指標評価	指標評価	指標評価 (最終)		
C 目標値未達成	C 目標値未達成	C 目標値未達成	B 目標達成		
実績	実績	実績	実績		
・先進市(生駒市)が活用しているタウンページデータベースの活用の検討。 ・タウンページから作成した事業所抽出リストの作成及び精査。	・事業所抽出リストの作成及び精査 ・令和2年度予算において、償却資産未申告者把握業務に係る予算を計上。	・令和3年度予算において、第2グループへの申告書送付に必要な費用を償却資産未申告者把握業務に係る予算として計上。	・令和4年度予算において、第3グループへの申告書送付に必要な費用を償却資産未申告者把握業務に係る予算として計上。		
翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)	翌年度予算への反映(千円)		
0	453	280	166		
*反映金額の算出方法	償却資産未申告者把握業務のために新規予算計上した額 (取組を進めるための経費であるため、「効果額」には算入しない。)				